平成 28 年度　群馬県立館林美術館年報

2016.4 - 2017.3

GMAT

Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

目次

・展覧会　p.3

A 展覧会一覧 ―― p.3
B 企画展示記録 ―― p.4
C コレクション展示記録 ―― p.38
D 彫刻家のアトリエ（別館）展示記録 ―― p.44
E 入館者数一覧表 ―― p.45

・教育普及　p.46

A 講演会 ・ アーティストトーク ―― p.46
B 作品解説会 ・ レクチャー ・ キッズウォーク ・ ポンポン・ツアー ―― p.47
C ワークショップ ―― p.49
D 創作体験コーナー みんなのアトリエ ―― p.51
E たてび☆びじゅつ部 ―― p.51
F たてび土曜レクチャー ―― p.52
G コンサート・映画上映会 ―― p.52
H 他団体への協力 ―― p.54
I 学校連携その他 ―― p.55
J 地域に開かれた美術館づくり ―― p.60
K 刊行物 ―― p.62
L ボランティア ―― p.63
M 友の会 ―― p.63

・所蔵資料　p.64

A 美術作品 ―― p.64
B 図書資料その他 ―― p.68

・関係者および職員名簿　p.69

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期	会場	内容
絵本・動物・地球展 8人の作家が奏でるいのちのうた	4/16～6/26	展示室2～4	地球上の異なる環境で生きる様々な動物たちを親しく見つめ、真摯に描き続ける8人の作家による、絵本の原画や描き下ろし作品約300点を展示した。
再発見！ニッポンの立体	7/16～9/19	展示室2～4	日本固有の造形感覚を探る巡回展。土偶や埴輪、仏像や神像、人形、寺社を装飾する彫り物、置物、ゆるキャラや、だるまや招き猫など、ジャンルを超えた多彩な造形表現約160点を紹介した。
大地に立って／空を見上げて ―風景のなかの現代作家	10/8～12/4	展示室1～4	自然のなかに身を置き、風景へとまなざしを向け、大地にイマジネーションを託す9人の作家によるグループ展。絵画、写真、映像やインスタレーションなど約110点を紹介した。
清宮質文と版画の魅力	1/4～4/2	展示室2	2017年に生誕100年を迎えた木版画家・清宮質文を紹介する展覧会。当館に寄託されている41点の清宮作品を中心に、影響を受けた作家の版画作品などを加え、合計131点を紹介した。

(2)コレクション展示

展示名	会期	会場	内容
近現代の彫刻Ⅰ 彫刻家による動物たちへの眼差し	4/16～6/26	展示室1	フランソワ・ポンポン、バリー・フラナガン、ジョアン・ミロなど、動物に魅せられた彫刻家たちの作品を展示。
近現代の彫刻Ⅱ 交差する日本と西洋	7/16～9/19	展示室1	高田博厚や佐藤忠良、勅使河原蒼風、岡本健彦など、西洋美術に魅了された日本人作家の作品を展示。
ポンポンとフランスの風景	10/8～12/4	展示室4	フランスの風景をテーマに、フランソワ・ポンポンの彫刻とポンポンが収集・保存していた絵はがきなどの資料を展示。
近現代の彫刻Ⅲ	1/4～4/2	展示室1	チャーナ・オルロフ、イサム・ノグチ、新収蔵のリサ・ラーソンなど、様々な素材の彫刻作品を展示。
植物、樹木そして風景	1/4～4/2	展示室3、4	植物、樹木、風景をテーマに、平成27年度新収蔵作品3点を含む当館の所蔵作品を展示した。

B 企画展示記録

1. 絵本・動物・地球展 8人の作家が奏でるいのちのうた

会期　平成28年4月16日（土）～6月26日（日）
会場　展示室2、3、4
主催　群馬県立館林美術館
協力　偕成社、キウイラボ、佼成出版社、講談社、小学館、童心社、童話屋、のらっこ社、福音館書店、ミキハウス、理論社
後援　一般社団法人　日本国際児童図書評議会（JBBY）
企画協力　Poche、KEICHU
観覧料　一般610（480）円　大高生300（240）円
（　）内は、20名以上の団体割引料金

当館ではこれまで、館のテーマである「自然と人間の関わり」に関連した展覧会を多数企画してきた。本展は、当館ではじめてとなる絵本作家を紹介する展覧会として、動物たちを親しく見つめ、真摯に描き続ける国内作家8人の作品を紹介した。

本展では、動物と絵本（イラスト）というキーワードでつながる8人の作家を紹介した。動物園の飼育員として、また旅する絵本作家として、動物に寄り添う独自のまなざしを培ったあべ弘士、古生物の復元図から現代的なモチーフまで、精緻を極めた生物画を描く小田隆、魚に魅せられ、グラフィカルな絵で自然の理を表現し続ける村上康成、画面から生命の体温やにおいまで立ち上らせる菊池日出夫、色鉛筆による柔らかなイメージで、小さな命を守る深い愛情と強い意志を表現するどいかや、味わい深い木版画による朴訥としたワニのキャラクターが人気の山口マオといったベテラン作家とともに、のびやかな筆致で生命力を開放するきくちちき、震災後の祈りをこめて描いた眠る動物たちのスケッチを展示したそのだえりの新進作家を紹介した。

地球上の異なる環境で生きる動物たちの姿を描いた300点を超える展示作品によって、人間と動物の関係や生命の意味について考える機会を提供することができた。また、会場内には動物絵本を閲覧するコーナーを設け、出品作家の展示作品以外の絵本など、200冊以上の絵本を閲覧することで動物絵本の世界への理解を深めることができた。

ポスター

図録

ジュニアガイド

出品目録

No	作家名	作品名	掲載	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm
1	あべ弘士	ゴリラはごりら	P7	1992	インク・トレーシングペーパー	10×10
2		ゴリラはごりら	P13	1992	インク・紙	21×15
3		ゴリラはごりら	P15	1992	インク・紙	13×11
4		ゴリラはごりら	P25	1992	インク・紙	10×13
5		ゴリラはごりら	P28-29	1992	水彩・紙	27.5×21.5
6		ゴリラはごりら	P31	1992	水彩、インク、マーカー・紙	13.5×14.5
7		ゴリラはごりら	P35	1992	インク・紙	13×11
8		ゴリラはごりら	P36-37	1992	クレヨン・トレーシングペーパー	18×24.5
9		ゴリラはごりら	P39	1992	ガッシュ、色鉛筆・紙	19×13
10		ゴリラはごりら	P40	1992	水彩、クレヨン、ペン・紙	39×29
11		ゴリラはごりら	P45	1992	ペン・紙	14.5×7.5
12		ゴリラはごりら	P47	1992	ガッシュ、色鉛筆・紙	15×10
13		ゴリラはごりら	P49	1992	インク・紙	13×11
14		ゴリラはごりら	P55	1992	クレヨン、インク・紙	23×14
15		ゴリラはごりら	P56-57	1992	水彩、インク・紙	13×22
16		ゴリラはごりら	P61	1992	水彩、インク・紙	13×22
17		ゴリラはごりら	P63	1992	水彩、インク・紙	14×11
18		ゴリラはごりら	P65	1992	インク・紙	13×11
19		ゴリラはごりら	P70-71	1992	インク・紙	10×16
20		ゴリラはごりら	P72-73	1992	クレヨン・紙	20×27
21		ゴリラはごりら	P78	1992	インク・紙	21×15
22		ゴリラはごりら	P80	1992	インク・紙	21×15
23		ゴリラはごりら	P82	1992	インク・紙	21×15
24		ゴリラはごりら	P84	1992	インク・紙	21×15
25		ゴリラはごりら	P86	1992	インク・紙	21×15
26		ゴリラはごりら	P88	1992	水彩、ペン・紙	12×10
27		ゴリラはごりら	未掲載	1992	ガッシュ、色鉛筆・紙	11.5×11.5
28		ゴリラはごりら	未掲載	1992	ガッシュ、色鉛筆・紙	9×15
29		ゴリラはごりら	未掲載	1992	色鉛筆、コンテ、ペン・紙	36×25.5
30		ゴリラはごりら	未掲載	1992	ペン・紙	14.5×7
31	あべ弘士	どうぶつえんガイド	P42-43	1991	コンテ、色鉛筆、鉛筆、スクラッチ・紙	33×45
32	あべ弘士	ゴリラ		1992	ガッシュ・紙	15×10
33	あべ弘士	ゴリラ		1992	ガッシュ、色鉛筆・紙	15×11
34	あべ弘士	ゴリラ		1992	ガッシュ、色鉛筆、クレヨン、ペン・紙	21×29.5
35	あべ弘士	マントヒヒ		1992	インク、色鉛筆、ペン・紙	15.5×14
36	あべ弘士	ゴリラ		1992	水彩、クレヨン・紙	21.5×30.5
37	あべ弘士	チンパンジーとネコ		1992	色鉛筆、ペン・紙	12×8
38	あべ弘士	ゴリラ		1992	色鉛筆、クレヨン・紙	21×29.5
39	あべ弘士	しろもくろも、みんなおいで	P30-31	2011	水彩、色鉛筆・紙	25.5×44
40	あべ弘士	ゴリラ立体		2014	アクリル・ベニヤ板	180×90×10
41	あべ弘士	ライオンのながいいちにち	P1	2004	ガッシュ、パステル・紙	24.5×27
42		ライオンのながいいちにち	P2-3	2004	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	24×50
43		ライオンのながいいちにち	P4-5	2004	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	24×50
44		ライオンのながいいちにち	P6-7	2004	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	24×50
45		ライオンのながいいちにち	P8-9	2004	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	24×50
46		ライオンのながいいちにち	P10-11	2004	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	24×50
47		ライオンのながいいちにち	P12-13	2004	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	24×50
48		ライオンのながいいちにち	P14-15	2004	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	24×50
49		ライオンのながいいちにち	P16-17	2004	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	24×50
50		ライオンのながいいちにち	P18-19	2004	ガッシュ・紙	24×50
51		ライオンのながいいちにち	P20-21	2004	ガッシュ・紙	24×50
52		ライオンのながいいちにち	P22-23	2004	ガッシュ、色鉛筆、パステル・紙	24×50
53		ライオンのながいいちにち	P24-25	2004	ガッシュ・紙	24×50
54		ライオンのながいいちにち	P26-27	2004	ガッシュ・紙	24×50
55		ライオンのながいいちにち	P28-29	2004	ガッシュ・紙	24×50
56		ライオンのながいいちにち	P30-31	2004	ガッシュ・紙	24×50
57		ライオンのながいいちにち	P32	2004	ガッシュ・紙	24.5×27

No	作家名	作品名	掲載	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm
58	あべ弘士	アフリカの光と風-1		2009	油性クレヨン・紙	165×90
59		アフリカの光と風-2		2009	油性クレヨン・紙	165×90
60		アフリカの光と風-3		2009	油性クレヨン・紙	165×90
61		アフリカの光と風-4		2009	油性クレヨン・紙	165×90
62		アフリカの光と風-5		2009	油性クレヨン・紙	165×90
63		アフリカの光と風-6		2009	油性クレヨン・紙	165×90
64		アフリカの光と風-7		2009	油性クレヨン・紙	165×90
65		アフリカの光と風-8		2009	油性クレヨン・紙	165×90
66		アフリカの光と風-9		2009	油性クレヨン・紙	165×90
67		アフリカの光と風-10		2009	油性クレヨン・紙	240×90
68		アフリカの光と風-11		2009	油性クレヨン・紙	240×90
69		アフリカの光と風-12		2009	油性クレヨン・紙	240×90
70		アフリカの光と風-13		2009	油性クレヨン・紙	240×90
71		アフリカの光と風-14		2009	油性クレヨン・紙	240×90
72		アフリカの光と風-15		2009	油性クレヨン・紙	240×90
73		アフリカの光と風-16		2009	油性クレヨン・紙	240×90
74		アフリカの光と風-17		2009	油性クレヨン・紙	240×90
75		フラミンゴ(80点)		2016	水性ペイント・アクリル	90×30
76	あべ弘士	新世界へ	表紙	2012	ガッシュ・紙	23×61
77		新世界へ	P1	2012	ガッシュ・紙	23×33
78		新世界へ	P6-7	2012	ガッシュ、ペン・紙	23×61
79		新世界へ	P8-9	2012	ガッシュ、ペン・紙	23×61
80		新世界へ	P10-11	2012	ガッシュ、パステル・紙	23×61
81		新世界へ	P12-13	2012	ガッシュ・紙	23×61
82		新世界へ	P16-17	2012	ガッシュ、ペン、色鉛筆・紙	23×61
83		新世界へ	P18-19	2012	ガッシュ、ペン・紙	23×61
84		新世界へ	P20-21	2012	ガッシュ、パステル・紙	23×61
85		新世界へ	P30-31	2012	ガッシュ・紙	23×61
85b		新世界へ	P32	2012	ガッシュ・紙	23×33
86	あべ弘士	こんちき号北極探検記(17点)		2011	水彩、ペン、鉛筆・紙	12×45
87	あべ弘士	きょうのシロクマ(20点)		2011	水彩、色鉛筆・紙	6×13
88	あべ弘士	なめとこ山の熊	表紙	2007	ガッシュ、パステル・紙	38×20
89		なめとこ山の熊	P2-3	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×39
90		なめとこ山の熊	P4-5	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×39
91		なめとこ山の熊	P7	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×39
92		なめとこ山の熊	P8-9	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×39
93		なめとこ山の熊	P10-11	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×39
94		なめとこ山の熊	P12-13	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×39
95		なめとこ山の熊	P14-15	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×39
96		なめとこ山の熊	P16-17	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×39
97		なめとこ山の熊	P18-19	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×51.5
98		なめとこ山の熊	P21	2007	ガッシュ、パステル・紙	28×39
99		なめとこ山の熊	P22-23	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	38×29
100		なめとこ山の熊	P25	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×26
101		なめとこ山の熊	P26-27	2007	ガッシュ、パステル・紙	29×38
102		なめとこ山の熊	P28-29	2007	ガッシュ、パステル・紙	28×39
103		なめとこ山の熊	P30-31	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×39
104		なめとこ山の熊	P32-33	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×51.5
105		なめとこ山の熊	P34-35	2007	ガッシュ、パステル、色鉛筆・紙	28×51.5
106		なめとこ山の熊	P36-37	2007	ガッシュ・紙	28×39
107		なめとこ山の熊	P38-39	2007	ガッシュ・紙	28×39
108		なめとこ山の熊	P40	2007	ガッシュ・紙	17×16
109	小田隆	コビトハツカネズミ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
110		カピバラ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
111		ヒマラヤヤマアラシ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
112		ニホンモモンガ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
113		アメリカアカリス		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
114		クログチナキウサギ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
115		コモンツパイ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1

No	作家名	作品名	掲載	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm
116	小田隆	マレーヒヨケザル		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
117		ワオレムール		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
118		インドリ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
119		アカホエザル		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
120		テングザル		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
121		スマトラオランウータン		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
122		チンパンジー		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
123		スラウェシメガネザル		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
124		キイロヒヒ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
125		ゴリラ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
126		ヒト		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
127		ニホンザル		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
128		ワピチ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
129		カバ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
130		プロングホーン		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
131		キリン		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
132		インパラ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
133		クビワペッカリー		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
134		ジャワマメジカ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
135		フタコブラクダ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
136		ラマ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
137		ザトウクジラ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
138		バンドウイルカ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
139		ミミセンザンコウ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
140		ライオン		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
141		ニホンツキノワグマ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
142		ブチハイエナ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
143		チュウゴクオオカミ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
144		コツメカワウソ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
145		レッサーパンダ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
146		ゴマフアザラシ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
147		アメリカバク		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
148		モウコノウマ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
149		シロサイ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
150		ハチマキカグラコウモリ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
151		ジャワオオコウモリ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
152		インドハリネズミ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
153		モグラ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
154		チビトガリネズミ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
155		ハリテンレック		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
156		オナガテンレック		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
157		オオキンモグラ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
158		コミミハネジネズミ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
159		ツチブタ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
160		アメリカマナティー		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
161		アジアゾウ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
162		サバンナゾウ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
163		ケープハイラックス		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
164		オオアリクイ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
165		ノドチャミユビナマケモノ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
166		マタコミツオビアルマジロ		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
167		ヒト		2014	ペン・イラストレーションボード	25.7×18.1
168		ウマ		2014	油彩・カンヴァス	266×324
169	村上康成	コバンザメのぼうけん	表紙	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
170		コバンザメのぼうけん	P2-3	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
171		コバンザメのぼうけん	P4-5	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
172		コバンザメのぼうけん	P7	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×29
173		コバンザメのぼうけん	P10-11	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54

No	作家名	作品名	掲載	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm
174	村上康成	コバンザメのぼうけん	P12-13	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
175		コバンザメのぼうけん	P14-15	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
176		コバンザメのぼうけん	P18-19	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
177		コバンザメのぼうけん	P21	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×29
178		コバンザメのぼうけん	P22-23	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
179		コバンザメのぼうけん	P26-27	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
180		コバンザメのぼうけん	P28-29	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
181		コバンザメのぼうけん	P30-31	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
182		コバンザメのぼうけん	P32	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×29
183		コバンザメのぼうけん	P34-35	1996	油彩マーカー、色鉛筆・紙	30×54
184	村上康成	ももんがもんじろう	P31-32	2015	ポスターカラー・紙	30×45
185	村上康成	ピンクがとんだ日	P12-13	2014	ポスターカラー・紙	26×54
186	村上康成	ラグーンのアカショウビン		2015	ポスターカラー・紙	22×22
187	菊池日出夫	やまばと	表紙	1981	墨・紙	30×33
188		やまばと	P11	1981	墨・紙	27×30
189		やまばと	P14-15	1981	墨・紙	48×38
190		やまばと	P16	1981	墨・紙	27×33
191		やまばと	P17	1981	墨・紙	27×30
192		やまばと	P20-21	1981	墨・紙	31×53.5
193		やまばと	P25	1981	墨・紙	30×32.5
194		やまばと	P28-29	1981	墨・紙	26.5×36
195		やまばと	P35	1981	墨・紙	26.5×28
196		やまばと	P36-37	1981	墨・紙	27×31
197	菊池日出夫	少女と牛		1970年代	墨・紙	103×73
198	山口マオ	わにわにとあかわに	表紙	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	20×24.5
199		わにわにとあかわに	P1	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	16×17
200		わにわにとあかわに	P2-3	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	28.5×47
201		わにわにとあかわに	P4-5	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	28.5×35.5
202		わにわにとあかわに	P6-7	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	28×41
203		わにわにとあかわに	P8-9	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	28×42
204		わにわにとあかわに	P10-11	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	27.5×35
205		わにわにとあかわに	P12-13	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	28×47
206		わにわにとあかわに	P14-15	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	27×47
207		わにわにとあかわに	P16-17	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	29×45
208		わにわにとあかわに	P18-19	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	25.5×41.5
209		わにわにとあかわに	P20-21	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	28.5×47
210		わにわにとあかわに	P22-23	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	28×47
211		わにわにとあかわに	P24	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	25×25
212		わにわにとあかわに	表4	2009	木版、ガッシュ・越前和紙	20×20
213	どいかや	ポーリーちゃん ポーリーちゃん	表紙	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	20×27
214		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	見返し	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×39.5
215		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P1	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	20×27.5
216		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P2	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	25×20
217		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P2	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	13.5×17.5
218		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P3	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27×21
219		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P4-5	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40
220		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P7	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40
221		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P9	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40
222		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P10-11	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40
223		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P12-13	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40
224		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P14-15	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40
225		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P16-17	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40
226		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P18	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×20
227		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P19	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40
228		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P21	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×20
229		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P22-23	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×20
230		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P25	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×20
231		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P27	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40
232		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P28-29	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×40

No	作家名	作品名	掲載	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm
233	どいかや	ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P30-31	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	21.5×41
234		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P32	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×20
235		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P33	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27.5×39
236		ポーリーちゃん ポーリーちゃん	P34	2015	色鉛筆、鉛筆・紙	27×20
237	どいかや	イタチ		2007	色鉛筆・紙	25×20
238	どいかや	ノウサギ		2007	色鉛筆・紙	24×30
239	どいかや	カモシカ		2007	色鉛筆・紙	27×20
240	どいかや	ニホンジカ		2007	色鉛筆・紙	27×18
241	きくちちき	ぼくだよ ぼくだよ	表紙	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
242		ぼくだよ ぼくだよ	P2-3	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
243		ぼくだよ ぼくだよ	P4-5	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
244		ぼくだよ ぼくだよ	P6-7	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
245		ぼくだよ ぼくだよ	P8-9	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
246		ぼくだよ ぼくだよ	P10-11	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
247		ぼくだよ ぼくだよ	P12-13	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
248		ぼくだよ ぼくだよ	P14-15	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
249		ぼくだよ ぼくだよ	P16-17	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
250		ぼくだよ ぼくだよ	P18-19	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
251		ぼくだよ ぼくだよ	P20-21	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
252		ぼくだよ ぼくだよ	P22-23	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
253		ぼくだよ ぼくだよ	P24-25	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
254		ぼくだよ ぼくだよ	P26-27	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
255		ぼくだよ ぼくだよ	P28-29	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
256		ぼくだよ ぼくだよ	P30-31	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
257		ぼくだよ ぼくだよ	P32	2013	透明水彩、墨・紙	54×76.5
	そのだえり	3.11以降の眠る動物シリーズ 「おやすみどうぶつ100」より50点				
258		キツネ		2011.3.15	鉛筆、墨、透明水彩・紙	22.7×15.8
259		アシカ		2011.3.16	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
260		ネザーランドウサギ		2011.3.18	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
261		パンダ		2011.3.19	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
262		ハリネズミ		2011.3.20	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
263		コアラ		2011.3.21	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
264		ひつじ		2011.3.22	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
265		キリン		2011.3.23	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
266		ニホンリス		2011.3.24	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
267		アフリカゾウ		2011.3.25	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
268		ザトウクジラ		2011.3.26	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
269		フクロウ		2011.3.28	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
270		こぶた		2011.3.29	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
271		ワオキツネザル		2011.3.30	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
272		ジュウシマツ		2011.3.31	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
273		レッサーパンダ		2011.4.2	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
274		コブハクチョウ		2011.4.3	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
275		コウテイペンギン		2011.4.5	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
276		カメ		2011.4.7	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
277		カルガモ		2011.4.9	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
278		エゾタヌキ		2011.4.12	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
279		キンカチョウ		2011.4.14	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
280		カピバラ		2011.4.18	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
281		ラッコ		2011.4.21	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
282		ライオン		2011.4.22	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
283		ツバメ		2011.5.2	鉛筆、墨、透明水彩・紙	18.2×25.7
284		マレーバク		2011.5.5	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
285		ニホンヤマネコ		2011.5.10	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
286		カワウソ		2011.5.11	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
287		ホッキョクグマ-1		2011.5.13	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
288		ホッキョクグマ-2		2011.5.16	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
289		マナティー		2011.5.18	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7

No	作家名	作品名	掲載	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm
290	そのだえり	シロサイ		2011.5.28	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
291		オランウータン		2011.6.1	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
292		オカメインコ		2011.6.1	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
293		ホーランドロップ		2011.6.8	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
294		フラミンゴ		2011.6.15	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
295		ジャガー		2011.6.16	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
296		キンクマハムスター		2011.6.22	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
297		ゴマフアザラシ		2011.6.28	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
298		ショウガラコ		2011.6.29	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
299		ベンガルヤマネコ		2011.6.30	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
300		柴犬		2011.7.5	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
301		デグー		2011.7.12	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
302		ターキン		2011.7.15	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
303		リスザル		2011.7.28	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
304		ミシシッピワニ		2011.7.29	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
305		オットセイ		2011.8.8	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
306		ヤマアラシ		2011.8.9	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7
307		ホンドキツネの家族		2011.8.10	鉛筆、墨、透明水彩・紙	15.8×22.7

◎印刷物・会場作成物

・図録　A4判変形(25.8×21.0cm)　64頁
内容:
目次
ごあいさつ
絵本・動物・人間(広松由希子)
出品作品図版／作家メッセージ
出品リスト
作家略歴／出版物
謝辞
編集:熊谷ゆう子(群馬県立館林美術館学芸員)、石橋侑子・安部忍(KEICHU)
デザイン:山田英夫(山田デザインオフィス)
印刷:グレートクー
発効日:2016年4月16日
発行:群馬県立館林美術館

・ポスター　B2
・チラシ　A4
・ジュニアガイド　蛇腹折り、18.0×78.0cm(仕上がりサイズB6)
デザイン:山田英夫(山田デザインオフィス)
印刷:グレートクー

・パネル
挨拶1枚、章解説4枚、作家解説8枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事
(長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略)

〔新聞等〕
・朝日ぐんま
5.27
「「絵本・動物・地球展 8人の作家が奏でるいのちのうた」動物たちが生きる世界に思い馳せて」＊〈文化紀行〉(学芸員 熊谷ゆう子)
・おおたタイムス
3.12
「絵本・動物・地球展 県立館林美術館 4月16日から」＊
・上毛新聞
4.12
「動物との共生絵本で考える 16日から館林美術館」＊〈ぶんか短信〉
4.17
「絵本、アートで動物表現 美術館で8作家200点」
4.21
「動物の絵本原画 絵本・動物・地球展 8人の作家が奏でるいのちのうた」〈おすすめ企画展〉
・JOMO TAKATAI
4.8
「絵本作家8人の原画 16日から館林美術館」〈アート〉
・東京新聞
6.18
「美術評「絵本・動物・地球 8人の作家が奏でるいのちのうた」」〈文化〉
＊
・読売新聞
5.8
「動物 独創的なタッチで 館林美術館 作家8人の原画など展示」＊
・群馬よみうり ビバ！アミーゴ
4.15
「絵本・動物・地球展 8人の作家が奏でるいのちのうた」〈ゴールデンウィークおでかけガイド パート1〉
・両毛新聞
4.4
「絵本・動物・地球展 8人の作家が奏でるいのちのうた 群馬県立館林美術館」＊

〔定期刊行物〕
・クーヨン
6月号
「種を超えて出会う 地球上のいのちの響き」〈petit journey〉
・MOE
7月号
「絵本・動物・地球展 8人の作家が奏でるいのちのうた」
・raifu
5月号
「地球上のさまざまな環境で生きる動物たちの姿を描いた作品が勢揃い」
6月号
「群馬県立館林美術館」〈Art＆StageEvent〉
・渡良瀬通信
4月号
「群馬県立館林美術館 あべ弘士《なめとこ山の熊》」〈誌上美術館〉＊(学芸員 熊谷ゆう子)

◎放送

〔テレビ〕
・NHK
4.12
「絵本・動物・地球展」〈気象情報〉
・群馬テレビ
4.22
「ポチッとあすナビ　催し物情報「絵本・動物・地球展」」〈ニュースeye8〉
・館林ケーブルテレビ
5.13-16
「絵本・動物・地球展」〈CC9ニュース〉
5.16-22
「群馬県立館林美術館「絵本・動物・地球展」」〈う・ら・ら〉

〔ラジオ〕
・FM桐生
5.12
「たてび☆びじゅつ部「たのしい動物ぬりえ」のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉
5.19
「「絵本の読み聞かせ」のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉
6.14
「「絵本の読み聞かせ」のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉
・FM太郎
4.12
「企画展示「絵本・動物・地球展」のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉
6.14
「「絵本の読み聞かせ」のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉

◎関連事業

・ライブペイント
4.16
講師：きくちちき
・講演会
5/21
講師：あべ弘士　聞き手：広松由希子
・ワークショップ
5/22
「キリンをつくろう」
講師：あべ弘士
6/4
「山口マオの木版画ワークショップ」
講師：山口マオ
・学芸員による作品解説会
4/30、5/17、6/1、6/12
・たてび☆びじゅつ部
5/14、6/11
「たのしい動物ぬりえ」
・絵本の読み聞かせ
4/24、5/26、6/19
協力：にじの会
・たてび☆キッズウォーク
5/5、6/18

展示室2

展示室3

展示室4

展示室4

2. 再発見！ニッポンの立体

会期　平成28年7月16日（土）～9月19日（月・祝）
会場　展示室2、3、4
主催　群馬県立館林美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛　ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
観覧料　一般610（480）円　大高生300（240）円
（　）内は、20名以上の団体割引料金

日本には土偶や埴輪、仏像や神像、人形、寺社を装飾する彫り物、置物など、信仰や生活に結びついた豊かな造形表現がある。ところが明治以降、西洋の彫刻がわが国に知られると、それらが刺激となって立体造形に大きな変化がもたらされた。しかし、それでも江戸時代以前の造形感覚がすっかり忘れられたわけではなかった。精巧な技術を駆使して本物そっくりを目指した木彫の栗や象牙の貝殻には、西洋美術が得意とする写実表現とは異なる意識がみられ、それらは根付け、水滴、香合など小さな立体に寄せる日本人の感性に特によく表れている。一方で、現代のゆるキャラやマスコットにみる簡略化は、だるまや招き猫、各地で大切にされたこけしの造形と結びついている。

本展では約160点のジャンルを超えた多彩な造形表現によって日本固有の美意識を探ることを試みた。

会期中は、出品作家の野口哲哉氏によるアーティスト・トークをはじめ、「ぐんまちゃんとサイコロじゃんけん大会」、ワークショップ「食品サンプル リアルなパフェづくり」、たてび☆びじゅつ部「カラーモールで動物をつくろう」など、数多くの関連事業を開催した。

ポスター

図録

ジュニアガイド

出品目録

序　前近代の立体

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1		縄文土偶	縄文時代晩期初頭		20.0×13.5×4.0	静岡市立芹沢銈介美術館
2		縄文土偶　頭部	縄文時代		6.0×7.5×3.0	静岡市立芹沢銈介美術館
3		縄文岩偶	縄文時代		9.5×9.0×2.5	静岡市立芹沢銈介美術館
4		人物埴輪頭部	弥生時代		10.0×10.0×10.5	静岡市立芹沢銈介美術館
5		木造大地母神像	平安時代後期	木	高さ37.8	井原市立田中美術館
6		木造阿弥陀如来化仏	平安時代後期	木	高さ33.0	井原市立田中美術館
7	円空	釈迦如来坐像	江戸時代前期	木	30.9×16.0×8.5	三重県立美術館
8	円空	地蔵菩薩立像	江戸時代前期	木	58.6×15.0×13.0	個人蔵(三重県立美術館寄託)
9	木喰	薬師如来坐像	1801(寛政13/享和元)	木	高さ72.0	調布市武者小路実篤記念館
10	木喰	玉津島大明神	1807(文化4)	木	49.5×15.8×12.5	河井寛次郎記念館
11		木製阿弥陀仏		木	31.0×12.5×7.5	静岡市立芹沢銈介美術館
12		木製神像		木	22.5×10.0×5.0	静岡市立芹沢銈介美術館
13	高村東雲	西行法師像	江戸時代後期	木、彩色	30.5×15.0×10.3	小平市平櫛田中彫刻美術館
14	諏訪立川流二代目 立川和四郎富昌	狛犬			(右)73.0×74.0×43.0 (左)80.0×74.0×37.0	静岡浅間神社
15		龍	江戸時代		幅39.0	清水三年坂美術館
16		かまど面		木	43.8×49.0×17.7	静岡市立芹沢銈介美術館
17		花巻土人形　だるま			12.0×11.0×8.1	静岡市立芹沢銈介美術館
18		花巻土人形　座り猫			15.0×12.0×9.0	静岡市立芹沢銈介美術館
19		相良土人形　玉ころがし			8.0×11.0×5.5	静岡市立芹沢銈介美術館
20		相良土人形　犬			18.0×15.0×8.0	静岡市立芹沢銈介美術館
21		堤土人形　山姥と金太郎			18.0×13.0×5.5	静岡市立芹沢銈介美術館
22		堤土人形　敦盛			22.0×19.0×8.5	静岡市立芹沢銈介美術館
23		金沢土人形　立ち娘	江戸時代末期		13.0×6.0×4.0	静岡市立芹沢銈介美術館
24		木の葉猿(馬乗り)			14.0×5.0×9.5	静岡市立芹沢銈介美術館
25		御所人形(三つ折人形)	江戸時代後期		高さ48.0	個人蔵

I　西洋との出会い

26	寺内信一	裸婦像	1884(明治17)	陶	82.0×38.0×24.0	常滑市
27	高村光雲	西王母		木	高さ28.5	清水三年坂美術館
28	加納鉄哉	観音像	1919(大正8)	木	高さ45.8	岐阜市歴史博物館
29	冨本梅月	龍観世音像香炉	1925(大正14)	陶	42.0×25.0×25.0	とこなめ陶の森
30	内藤陽三	鯉江方寿翁胸像	1884(明治17)	陶	52.5×46.0×24.0	とこなめ陶の森
31	大熊氏廣	木戸孝允胸像	1892(明治25)	石膏	56.5×39.0×20.0	京都市美術館
33	高村光太郎	裸婦座像	1917(大正6)	ブロンズ	29.5×14.0×15.0	京都国立近代美術館
34	高村光太郎	手	1918(大正7)頃	ブロンズ	39.0×28.7×15.2	台東区立朝倉彫塑館
35	高村光太郎	大倉喜八郎像	1927(昭和2)	ブロンズ	14.5×10.5×12.0	神奈川県立近代美術館
36	米原雲海	永富謙八翁之像	1901(明治34)	木	30.0×26.5×24.5	井原市立田中美術館
37	平櫛田中	小田部助左衛門翁像	1929(昭和4)	木	29.5×39.5×30.0	個人蔵
38	平櫛田中	灰袋子	1950(昭和25)	木	高さ45.3	平塚市美術館
39	宮本理三郎	平櫛先生像	1941(昭和16)	木	高さ25.0	東京藝術大学
40	鯉江方寿	鯉江小三郎尚方像	1887(明治20)	陶	17.5×17.0×12.0	とこなめ陶の森
41	平野霞裳	鯉江方寿翁家立像	1913(大正2)	陶	69.0×30.0×23.0	常滑市
42	平野霞裳	鯉江方寿翁像頭部	1914(大正3)	陶	72.0×40.0×40.0	とこなめ陶の森
43	向井良吉	マネキン(FW-68)	1952(昭和27)	楮製紙、マネキン着用 衣裳:セーター(複製)、 フレアスカート、ベルト (オリジナル)杉野芳子 制作、1954(昭和29)	高さ170.0	杉野学園衣裳博物館

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行)cm	所蔵
44	グループ七彩 (欠田誠・加野正浩)	仲間	1971(昭和46)	FRP、布	(立つ男性) 166.0×55.0×31.0 (座る女性) 118.0×60.0×82.0 (座る男性) 124.0×57.0×68.0	東京都現代美術館
45	棚田康司	卓の少年－太陽－	2015(平成27)	楠材の一木造りに彩色、アクリル糸	139.0×57.0×31.0	
46	棚田康司	卓の少年－月－	2015(平成27)	楠材の一木造りに彩色、レース糸	128.0×57.0×31.0	
47	保井智貴	echoic	2008(平成20)	漆、麻布、螺鈿、錫粉、岩絵具、膠、黒曜石、大理石、他	163.0×50.0×28.0	個人蔵
48	保井智貴	light	2014(平成26)	楠、漆、麻布、螺鈿、岩絵具、膠、黒曜石、大理石、他	160.0×40.0×23.0	作家蔵
49	野口哲哉	誰モ喋ッテハイケナイ	2008(平成20)	樹脂、化学繊維など	高さ31.0	個人蔵
50	野口哲哉	Sleep Away	2015(平成27)	樹脂、化学繊維など	高さ37.0	個人蔵
51	野口哲哉	Clever Bird	2016(平成28)	樹脂、化学繊維など	45.7×21.0×18.0	個人蔵
52	野口哲哉	Red Man 2016ver	2016(平成28)	樹脂、化学繊維など	28.5×11.0×8.0	個人蔵
53	野口哲哉	ビットマンシリーズ Helmet of Hachimaki type 鉢巻 Helmet of Eboshi type 金烏帽子 Helmet of Large square 一之谷 Helmet of Deer horn 鹿角 Helmet of two tiles 番瓦 Helmet of bear ear 熊耳 Helmet of shellfish 貝 Helmet of Golden Peach 金桃形	2016(平成28)	樹脂など	各7.3×2.1×1.3	個人蔵
54	四谷シモン	Simon Doll	2014(平成26)	木、桐塑、ガラス、毛、布、皮	107.0×26.0×18.0	作家蔵

Ⅱ　似せることへの志向

55	石川光明	木彫兎	1912(明治45/大正元)	木	15.0×20.0×16.5	清水三年坂美術館
56	石川光明	羊		象牙	高さ22.0	清水三年坂美術館
58	安藤緑山	牙彫貝尽くし		象牙、彩色	(サザエ)高さ7.4 (トコブシ)高さ2.1 (蛤)高さ2.4	清水三年坂美術館
59	山崎南海	牙彫自在海老		象牙、彩色	8.0×27.0×13.0	清水三年坂美術館
60	津田笑齋	活動海老	1925(大正14)	象牙、彩色	13.0×12.0×10.0	個人蔵
61	松崎福松	野見宿禰と当麻蹶速	1928(昭和3)		35.7×30.0×35.0	双葉寿司
62	後藤貞行	馬			総高35.3　像高31.5	東京藝術大学
63	川村吾蔵	ホルスタイン種乳牛　牝	1923(大正12)	ブロンズ	45.5×64.0×22.5	佐久市川村吾蔵記念館
64	橋本平八	石に就て	1928(昭和3)	木彫、彩色	28.6×18.2×19.6	個人蔵(三重県立美術館寄託)
65	横田七郎	栗	1933(昭和8)頃	木	高さ6.5	平塚市美術館
66	横田七郎	栗	1933(昭和8)頃	木	高さ7.0	平塚市美術館
67	横田七郎	めざし	1928(昭和3)	木、彩色	高さ6.0	平塚市美術館
68	横田七郎	静物	1929(昭和4)	木、彩色	高さ7.0	平塚市美術館
70	宮本理三郎	木彫蜥蜴	1929(昭和4)以降	木、彩色	5.0×37.5×4.5	清水三年坂美術館

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行)cm	所蔵
72		食品サンプル				
73	荒井良	Emergence	2015(平成27)	紙、木、胡粉彩色	高さ91.0	小泉清氏蔵
74	前原冬樹	一刻	2012(平成24)	朴、柘植、油彩	6.5×60.0×20.5	作家蔵

Ⅲ 似せることの対極

75	平櫛田中	気楽坊	1961(昭和36)	木、彩色	19.5×19.0×11.0	小平市平櫛田中彫刻美術館
76	平櫛田中	福聚大黒天尊像	1970(昭和45)	木、彩色	高さ17.8	小平市平櫛田中彫刻美術館
77	平櫛田中	満徳恵比寿尊像	1971(昭和46)	木、彩色	高さ17.5	小平市平櫛田中彫刻美術館
78		童子頭部(張子の型)			27.5×13.0×16.5	静岡市立芹沢銈介美術館
79		達磨木型		木	20.0×26.5×26.0	静岡市立芹沢銈介美術館
80		高崎だるま		紙、粘土、胡粉、水性塗料	39.0×33.0×29.0	
81		招き猫			31.0×18.0×16.0	
82		店頭用ペコちゃん人形		ソフトビニール製、金属台座、布製衣装	高さ100.0	不二家
83		店頭用サトちゃん人形	2015(平成27)	ABS樹脂(本体)、HDPE(高密度ポリエチレン)、砂鉄(台座)	本体68.0 台座22.0	佐藤製薬 協力:清水薬局
特別出品		ぐんまちゃん(ぬいぐるみ)			高さ70.0	群馬県

Ⅳ 立体と平面の境界

84	松山政太郎	筋展示レリーフ	1884(明治17)	陶	63.5×31.5×4.5	常滑市
85	高村光雲	江口の遊君	1899(明治32)	木	径40.5	清水三年坂美術館
87	齋藤素巖	泉	1927(昭和2)	石膏、彩色	76.5×147.5×5.0	小平市
88	陽咸二	女と猫	1929(昭和4)	ブロンズ	116.0×98.0×9.3	宇都宮美術館
89	陽咸二	女と犬	1929(昭和4)	ブロンズ	115.6×98.5×9.5	宇都宮美術館
90	荻島安二	マスク(マレーネ・ディートリッヒ)	1938(昭和13)	軽合金	20.5×16.0×13.0	東京国立近代美術館
91	戸張孤雁	女の肖像		ブロンズ	42.5×37.0×21.0	東京国立近代美術館
93	中谷ミチコ	美しい鳥	2011(平成23)	石膏、透明樹脂、顔料	114.0×90.0×10.5	H.G蔵
96	中谷ミチコ	印象　鳥	2012(平成24)	石膏、透明樹脂、顔料	78.0×82.0×9.0	作家蔵
	中谷ミチコ	I'll give you my blood	2016(平成28)	石膏、透明樹脂、顔料	43.0×52.7×3.5	作家蔵

Ⅴ 愛らしき小さな立体

97	光春銘	銀杏象牙彫根付		象牙		清水三年坂美術館
98	光角銘	亀木彫根付		木	6.0×5.0×3.0	清水三年坂美術館
99	江月銘	梨蜂木彫根付		木、彩色	高さ5.0、幅3.5	清水三年坂美術館
100		蝉木彫根付		木、彩色	長幅6.0、短幅2.0	清水三年坂美術館
101	王藻銘	落花生木彫根付		木、彩色	高さ2.5、幅5.0	清水三年坂美術館
102	橋本平八	たにぐく		木、彩色	3.0×4.0×7.0	個人蔵(三重県立美術館寄託)
103	橋本平八	三猿香合	1929(昭和4)	木、彩色	5.0×8.0×5.0	個人蔵(三重県立美術館寄託)
104	橋本平八	楽地雨趣	1931(昭和6)	木、彩色	2.0×2.3×2.5	個人蔵(三重県立美術館寄託)
105	橋本平八	稲舟香合	1933(昭和8)	木	3.0×7.0×3.5	個人蔵(三重県立美術館寄託)
106	橋本平八	多仁倶九		木、彩色	2.5×3.5×5.0	個人蔵(三重県立美術館寄託)
107	下村良之介	子水滴	1995(平成7)頃	陶	8.9×8.4×10.4	とちぎ蔵の街美術館 「石井コレクション」
108	山田常山(三代)	梨皮紫泥水滴	1986(昭和61)頃	陶	3.4×8.1×3.6	とちぎ蔵の街美術館 「石井コレクション」

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行)㎝	所蔵
109	小山一草(二代)	サザエ水滴	1981(昭和56)頃	陶	4.3×5.9×6.3	とちぎ蔵の街美術館「石井コレクション」
110	宮永理吉(三代 宮永東山)	影青鎬文有水滴	1990(平成2)頃	磁器	4.6×6.9×5.8	とちぎ蔵の街美術館「石井コレクション」
111	大嶋久興	黄瀬戸水滴	1996(平成8)頃	陶	5.5×8.3×5.0	とちぎ蔵の街美術館「石井コレクション」
112	佐藤和彦	灰陶泥彩水滴	1989(昭和64/平成元)頃	陶	5.3×9.4×4.6	とちぎ蔵の街美術館「石井コレクション」
113	吉川充	渦巻文水滴	1991(平成3)頃	陶	6.4×9.7×8.9	とちぎ蔵の街美術館「石井コレクション」
114	上方派	眠り猫とあわび	江戸時代中期	象牙	3.8×2.3×1.5	京都 清宗根付館
115	京都派	魚を持つ漁師	江戸時代中期	象牙	2.8×8.0×2.0	京都 清宗根付館
116	鈴木正直(初代)	草履に蛙		黄楊	4.7×2.5×3.5	京都 清宗根付館
117	加納鉄哉	二の舞	大正時代後期	木	3.0×1.5×3.5	京都 清宗根付館
118	稲田一郎	恵比寿		象牙	3.3×3.2×2.7	京都 清宗根付館
119	岸一舟	面づくし	1960(昭和35)	象牙	4.8×3.3×4.1	京都 清宗根付館
120	関沢芳堂	海のめぐみ	2006(平成18)	象牙	3.9×1.9×2.5	京都 清宗根付館
121	駒田柳之	夕暮		黄楊	2.5×7.6×3.0	京都 清宗根付館
122	永島信也	鬼が出るか蛇が出るか	2016(平成28)	黄楊、鼈甲、岩絵具	6.7×3.6×2.7	作家蔵
123	永島信也	瑞兆	2016(平成28)	鹿角、鼈甲	6.1×3.2×2.2	作家蔵
124	須田悦弘	雑草	2008(平成20)	木、彩色		作家蔵

Ⅵ 飾る立体

125	宮川香山	葡萄鼠細工花瓶　一対	1876-82(明治9-15)頃	陶	高さ35.5	山本博士コレクション(宮川香山眞葛ミュージアム保管)
126	宮川香山	崖ニ鷹大花瓶　一対	1876-82(明治9-15)頃		(右)高さ52.0×幅37.0 (左)高さ52.0×幅34.0	山本博士コレクション(宮川香山眞葛ミュージアム保管)
127	高瀬好山	鯉	20世紀(明治-大正時代)	四分一	幅33.1	清水三年坂美術館
128	正阿弥勝義	柘榴に蝉飾器			高さ12.4	清水三年坂美術館
129	村上盛之	冬瓜大香炉			高さ26.0 幅8.5(轡虫)	清水三年坂美術館
130	長谷川一清	孔雀置物	明治時代	銀地に金・銀・赤銅・四分一・素銅象嵌、肉彫、象嵌七宝	(雄)高さ17.5 (雌)高さ13.5	清水三年坂美術館
131	香取秀真	美々豆久香炉		鋳金	17.8×11.4×8.6	千葉県立美術館
132	津田信夫	鶴		鋳金	(右)10.8×16.5×6.0 (左)6.0×14.0×5.0	千葉県立美術館
133	津田信夫	玉麟炬爐		鋳金	24.5×38.0×14.0	千葉県立美術館
134	桂光春	菊慈童	明治時代後期	金工	高さ28.0	掛川市二の丸美術館
135	豊川光長(二代)	菅公童子立像	1923(大正12)	金工、金銀象嵌	高さ18.6	掛川市二の丸美術館
136	森川杜園	春日赤童子	1889(明治22)	木、彩色	高さ22.2	小平市平櫛田中彫刻美術館
137	森川杜園	里万歳		木、彩色	高さ15.1(大)8.7(小)	小平市平櫛田中彫刻美術館
138	加納鉄哉	鍾馗像		木	高さ23.1	岐阜市歴史博物館
139	加納鉄哉	鍾馗像		木、彩色	高さ35.0	岐阜市歴史博物館
140	加納鉄哉	鬼念仏像		木、彩色	高さ37.8	岐阜市歴史博物館
141	橋本平八	人形像	1925(大正14)	木、彩色	21.0×9.5×5.0	個人蔵(三重県立美術館寄託)
142	橋本平八	伊勢人形　参宮道者	1929(昭和4)	木	各7.5×3.5×2.0	個人蔵(三重県立美術館寄託)
143	石井鶴三	隅田川		木、彩色	高さ23.8	小平市平櫛田中彫刻美術館

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行)cm	所蔵
144	寺内信一	歳徳神像	1932(昭和7)	陶	高さ16.0	とこなめ陶の森
145	沼田一雅	陶彫 印度象	1950-54(昭和25-29)頃	陶	15.8×21.8×8.8	東京国立近代美術館
147	小川雄平	陶製黒豹置物	1933(昭和8)	陶	22.0×44.5×12.3	東京国立近代美術館
148	河井寛次郎	鉄釉陶彫像	1935(昭和10)	陶	高さ25.0、長径16.0×短径13.0	河井寛次郎記念館
149	河井寛次郎	鉄釉陶彫像	1937(昭和12)	陶	高さ28.5、長径16.0×短径14.0	河井寛次郎記念館
150	辻晉堂	東山にて	1962(昭和37)	陶	68.0×118.0×15.5	
151	辻晉堂	ポケット地平線	1965(昭和40)	陶	26.5×93.0×13.5	三重県立美術館
152	八木一夫	人物	1964(昭和39)	陶	36.0×17.0×11.0	広島県立美術館
153	鈴木治	馬	1971(昭和46)	陶	高さ81.0×径17.0×45.0	京都国立近代美術館
154	桜文鳥	RSH(リアルスケールヘッド)ver.1.1	2013-14(平成25-26)	ポリウレタン樹脂、彩色	高さ56.0	作家蔵
155	桜文鳥	RSH(リアルスケールヘッド)-A3	2015(平成27)	ポリウレタン樹脂、彩色	高さ56.0	作家蔵
156	桜文鳥	あかねちゃんとアヒルちゃん	2002(平成14)	ポリウレタン樹脂、彩色	高さ22.5	作家蔵
157	桜文鳥	メイ(紺)	2005(平成17)	ポリウレタン樹脂、彩色	高さ11.0	作家蔵
158	桜文鳥	メイver.1.1(橙)	2011(平成23)	ポリウレタン樹脂、彩色	高さ11.0	作家蔵
159	桜文鳥	メイver.1.1(緑)	2011(平成23)	ポリウレタン樹脂、彩色	高さ11.0	作家蔵

◎印刷物・会場作成物

・図録　A4判変形（24.0×19.0cm）　176頁
内容：
「再発見！ニッポンの立体」（毛利伊知郎）
立体と平面の境界―浮彫に関するいくつかのこと（神尾玲子）
ちいさきものへ―小品から見る日本の立体表現の歩み（原舞子）
「本物そっくりな」ひとがたについて―彫刻とヒューマノイドと人形と（村上敬）
図版
序　前近代の立体
Ⅰ　西洋との出会い
Ⅱ　似せることへの志向
Ⅲ　似せることの対極
Ⅳ　立体と平面の境界
Ⅴ　愛らしき小さな立体
Ⅵ　飾る立体
日本の立体造形　略年譜
主要作家・作品解説
主要参考文献
作品リスト
執筆・編集：神尾玲子（群馬県立館林美術館学芸員）
　　村上敬（静岡県立美術館学芸員）
　　毛利伊知郎（三重県立美術館顧問）
　　原舞子（三重県立美術館学芸員）
制作：印象社
発行日：2017年7月16日
発行：群馬県立館林美術館、静岡県立美術館、三重県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
デザイン：栗原幸治（Kuri-Labo）
制作：印象社

・ポスター　B2
・チラシ　A4
・ジュニアガイド　円形蛇腹三つ折り、直径21cm
デザイン：栗原幸治（Kuri-Labo）
制作：印象社

・パネル
挨拶1枚、章解説6枚、作品解説10枚、日本の立体造形略年譜1枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

（長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略）

[新聞等]
・朝日新聞
8.3
「再発見！ニッポンの立体」〈群馬マリオン〉
8.23
「「再発見！ニッポンの立体」展「彫刻」の敷居 越える企て」＊〈評〉
・朝日ぐんま
8.26
「「再発見！ニッポンの立体」展 日本古来の豊かな立体表現を感じて」＊〈文化紀行〉（学芸員 神尾玲子）
・おおたタイムス
7.2
「立体表現の美意識を探る 館林美術館 7月16日～9月19日」＊
・産経新聞
「「再発見！ニッポンの立体」展「本物に近づく」継承される美意識」＊〈アート〉
・上毛新聞
7.17
「日本の造形美 再発見 県立館林美術館 土偶から歴史たどる」＊
・上毛シャトル
7.14
「県立館林美術館 16日から企画展 世界が驚いた立体造形」＊（学芸員 神尾玲子）
・タウンわたらせ
7.23
「県有施設で遊んで学ぼう 群馬県立館林美術館 日本美を感じる企画展やワークショップ」
・東京新聞
7.14
「群馬県立館林美術館」〈美術館・博物館〉
・日経新聞
9.7
「彫刻の先入観覆す「再発見！ニッポンの立体」展」＊
・読売新聞
4.27
「知識・持ち味が集結 再発見！ニッポンの立体」
7.8
「再発見！ニッポンの立体」
7.17
「縄文から現代までの立体造形作品が集結 県立館林美術館」＊
8.1
「「再発見！ニッポンの立体」展㊤ 西洋から伝わった「彫刻」」＊（学芸員 神尾玲子）

8.2
「「再発見！ニッポンの立体」展㊥ 小さな美 愛でる伝統」＊（学芸員 神尾玲子）
8.3
「「再発見！ニッポンの立体」展㊦ ゆるキャラのルーツ」＊（学芸員 神尾玲子）
・群馬よみうり ビバ！アミーゴ
7.15
「再発見!ニッポンの立体」〈Event Information〉
・両毛新聞
7.23
「再発見！日本の立体 群馬県立館林美術館」＊

[定期刊行物]
・月刊アートコレクターズ
6月号
「ニッポンの立体クロニクル」＊
・男の隠れ家
9月号
「信仰や生活に結びついた造形 再発見！ニッポンの立体」〈2016年下半期～2017年上半期 注目の美術展80〉
・ギャラリー
7月号
「再発見！ニッポンの立体」〈今月の展覧会50＋〉
・芸術新潮
7月号
「再発見！ニッポンの立体」〈全国展覧会情報〉
9月号
「連載 其ノ十六 ちなみにメインヴィジュアルは高崎達磨なのだ、の巻」＊〈TONT&INOCCHIちくちく美術部マンガ展評〉
・美術の窓
2月号
「再発見！ニッポンの立体 土偶、円空仏、生人形からゆるキャラまで、日本人の美意識を立体表現に見る」〈必見！！今年の展覧会ベスト200〉＊（学芸員 神尾玲子）
・美連協ニュース
2月号
「再発見！ニッポンの立体」＊
・raifu
7月号、8月号、9月号
「群馬県立館林美術館」〈Art&StageEvent〉

◎放送

〔テレビ〕
・群馬テレビ
8.4
「ポチッとあすナビ 催し物情報「再発見！ニッポンの立体」」〈ニュースeye8〉
8.12
「ぐんまちゃんニュース 県立館林美術館「再発見！ニッポンの立体」」〈ぐんま一番〉
・館林ケーブルテレビ
8.15-21
「群馬県立館林美術館「再発見！ニッポンの立体」展」〈う・ら・ら〉
・NHK
8.21
「再発見！ニッポンの立体」〈日曜美術館アートシーン〉

〔ラジオ〕
・FM桐生
7.26
「企画展示「再発見！ニッポンの立体」 作品解説会のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
8.11
「「高校生による美術館ミニコンサート」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
9.6
「企画展示「再発見！ニッポンの立体」 作品解説会のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
・FM太郎
7.14
「企画展示「再発見！ニッポンの立体」のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉
7.21
「企画展示「再発見！ニッポンの立体」 作品解説会のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
8.16
「ワークショップ「こねこね！お寿司をつくろう～へいらっしゃい！寿司処たてび～」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
9.6
「企画展示「再発見！ニッポンの立体」のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉

◎関連事業

・アーティスト・トーク
8.28
講師：野口哲哉

・ワークショップ

8.20

「こねこね！お寿司をつくろう ～へいらっしゃい！寿司処たてび～」

協力：群馬県立女子大学 奥西ゼミ

8.27

「食品サンプル リアルなパフェづくり」

協力：大和サンプル製作所

・館林市教育委員会・群馬県立館林美術館共催事業　彫刻を楽しむための彫刻講座

9.17

・ぐんまちゃんとサイコロじゃんけん大会

7.16、7.23、8.6

・たてび☆びじゅつ部

9.3

「カラーモールで動物をつくろう」

・学芸員による作品解説会

7.27、8.12、9.11

・たてび☆キッズウォーク

7.23、8.6

展示室2

展示室3

展示室4

展示室4

2. 大地に立って／空を見上げて―風景のなかの現代作家

会期　　平成28年10月8日（土）～12月4日（日）
会場　　展示室1、2、3、4
主催　　群馬県立館林美術館
助成　　芸術文化振興基金
観覧料　一般820（650）円　大高生410（320）円
（　）内は、20名以上の団体割引料金

関東地方のほぼ中心に位置し、利根川と渡良瀬川に囲まれた、起伏のない平坦な大地が広がる館林において、ランドスケープの特徴を活かして設計デザインされた当館は、敷地の中央に広大な緑の前庭を据えている。ここに立ってみると、遮られることなく広がる大地と空が、土地の特性を示すとともに、まっさらなカンヴァスのように人の内面や物語を映し出す抽象空間ともなることに気づかされるだろう。

本展は、当館をとりまくこの風景を舞台装置として、自然のなかに身を置き、風景へとまなざしを向け、大地にイマジネーションを託す9人の作家をとり上げたものである。

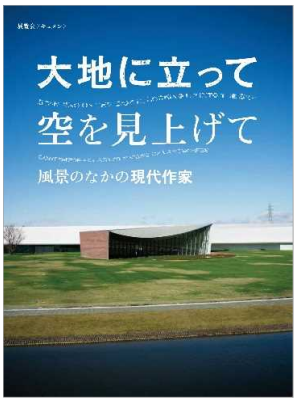
瀬尾夏美は、東日本大震災の被災地の風景や人々の思いを伝える絵やテキストを展示、ALIMOは、記憶の風景をたどる物語のアニメーション作品、笹井青依は、人の手によって植えられた都会の木々をのびやかに描いた絵画作品を出品。中西信洋は、風景の連続写真によるインスタレーションと鏡にドローイングした作品、シンゴ ヨシダは、シベリアで撮影した映像作品など、笹岡啓子は、館林で撮り下ろした写真と震災後の東北の写真を出品。スタン・アンダソンについては、自然素材で作られた立体、ドローイングの他、地図や道具などの資料、映像や写真により活動の軌跡を辿った。秋山さやかは、館林に2ヶ月弱滞在した時間の風景を会場内で日々変化するインスタレーションとして発展させた。日比野克彦は、2009年の当館での展示作品と、今回は地域ゆかりの揚舟をテーマに来館者の参加型の作品を展示した。作家の身体や感覚、想像を介して導き出された作品、来館者が参加して作り上げていく作品を通して、人間の生死、文化や歴史とつながる現実あるいは想像の風景、そして風景をつくる人と自然の働きと時の流れについて、考える場となった。

さらに本展では、館林のまちなかの建物と風景の再発見・再利用を提案する市民プロジェクト「館林Re-project」による展示が館内外で行われた。ギャラリーでは、館林の街に残したい古い建物の写真、古い建材を再利用したブリコラージュ作品を展示、美術館の前庭では、プロジェクトに関わる造形作家、亀山知英によるトタン・アートが展示された。

会期中は、出品作家によるアーティスト・トーク、ワークショップに加え、当館の建築、ランドスケープの設計・デザインを担当した建築家によるトーク＆ツアーまで、様々なイベントを開催した。

ポスター

図録



展覧会ドキュメント

ジュニアガイド

出品目録

瀬尾夏美

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm ／上映時間	
1	さっきまでは誰かのもの	2011	鉛筆・紙	35.2 × 25.2	No.1〜22
2	太陽がたくさん昇る	2011	鉛筆・紙	25.2 × 35.2	作家蔵
3	さみしさ	2013	ボールペン、色鉛筆・紙	18.2 × 25.5	
4	まぶしい草地に	2014	ボールペン、水彩・紙	18.2 × 25.5	
5	あたらしい地平線	2014	鉛筆、色鉛筆・紙	18.2 × 25.5	
6	めがなれるまで	2014	アクリル、色鉛筆・紙	18.2 × 25.5	
7	会いにくる	2015	水彩・紙	18.2 × 25.5	
8	気仙町中堰 01	2012	水彩・紙	50 × 65	
9	気仙町中堰 02	2012	水彩・紙	50 × 65	
10	気仙町的場	2012	水彩・紙	50 × 65	
11	米崎町樋の口 04	2012	水彩・紙	50 × 65	
12	町は消えてしまった	2013	アクリル、色鉛筆・板	45 × 45	
13	とびきりきれいな場所	2014	アクリル・カンヴァス	45 × 90	
14	駅通りを見おろす	2014	アクリル・カンヴァス	50 × 145	
15	五本松、昔はここでよくあそんだ	2014	アクリル・カンヴァス	55 × 77	
16	本丸公園、ここで見ていた	2014	アクリル・カンヴァス	65 × 100	
17	花の寝床	2015	アクリル・カンヴァス	33 × 48	
18	五本松、ここでよく遊んだ	2015	アクリル、鉛筆・カンヴァス	75 × 98	
19	二重のまち	2015	鉛筆、色鉛筆、水彩・紙／アクリル・カンヴァス／テキスト		
20	遠い火 ｜ 山の終戦	2016	鉛筆、色鉛筆、水彩・紙／テキスト		
21	スケッチ帳				
22	Kさんの話していたことと、さみしさについて	2012	ドローイング、テキスト		

ALIMO

1	人の島	2011	ストップモーション	6分32秒	No.1〜3
2	人の島(原画)	2011	油彩・カンヴァス	33 × 53	作家蔵
3	人の島(下絵、絵コンテ)	2011			

笹井青依

1	Pyrus (D1)	2012	木炭・紙	76 × 56	No.1, 2, 4〜10 作家蔵
2	Myrica	2012	油彩・カンヴァス	181.8 × 227.3	
3	Laurales	2012	油彩・カンヴァス	181.8 × 227.3	個人蔵
4	Pyrus	2013	油彩・カンヴァス	181.8 × 227.3	
5	Camellia 2	2013	油彩・カンヴァス	181.8 × 227.3	
6	Marcropodum	2015	油彩・カンヴァス	194 × 162	
7	Gingko	2015	油彩・カンヴァス	194 × 162	
8	Oleander	2015	油彩・カンヴァス	130.3 × 162	
9	Apple	2015	油彩・カンヴァス	130.3 × 162	
10	Acacia	2016	油彩・カンヴァス	194 × 162	

中西信洋

1	Layer Drawing-the Tactual Sky	2013	インクジェットプリント・フィルム	100 × 100 (50枚)	
2	Stripe Drawing Mirror-Divide	2013	エングレーヴィング・鏡	200 × 273 × 0.5	
3	Stripe Drawing Mirror-Avalance	2013	エングレーヴィング・鏡	80 × 130 × 0.5	
4	Stripe Drawing Mirror-Vapor	2013	エングレーヴィング・鏡	80 × 130 × 0.5	
5	Stripe Drawing Mirror-Light of forest	2013	エングレーヴィング・鏡	130 × 240 × 0.5	

シンゴ ヨシダ

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm ／上映時間
1	見えない旅路	2013	HDヴィデオ、サウンド	12分
2	今日の終わり、そして、世界の始まり	2015	4Kヴィデオ、サウンド	21分

笹岡啓子

	「Horizontal & Vertical」				
1	大槌 Otsuchi, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	No.1～29
2	大槌 Otsuchi, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	作家蔵
3	大槌 Otsuchi, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
4	大槌 Otsuchi, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
5	大槌 Otsuchi, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
6	大槌 Otsuchi, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
7	大船渡 Ofunato, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
8	大船渡 Ofunato, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
9	陸前高田 Rikuzentakata, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
10	女川 Onagawa, Miyagi	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
11	南三陸 Minamisanriku, Miyagi	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
12	鵜住居 Unosumai, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
13	南相馬 Minamisoma, Fukushima	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
14	田老 Taro, Iwate	2011	顔料インクジェットプリント	18 × 24	
15	利根川 Tone River, Gunma	2016	顔料インクジェットプリント	38.3 × 51	
16	多々良 Tatara, Gunma	2016	顔料インクジェットプリント	38.3 × 51	
17	多々良 Tatara, Gunma	2016	顔料インクジェットプリント	38.3 × 51	
18	多々良 Tatara, Gunma	2016	顔料インクジェットプリント	38.3 × 51	
19	多々良 Tatara, Gunma	2016	顔料インクジェットプリント	38.3 × 51	
20	渡良瀬 Watarase, Tochigi	2016	顔料インクジェットプリント	38.3 × 51	
21	相馬 Soma, Fukushima	2014	顔料インクジェットプリント	38.3 × 51	
22	相馬 Soma, Fukushima	2014	顔料インクジェットプリント	38.3 × 51	
23	相馬 Soma, Fukushima	2014	顔料インクジェットプリント	100 × 133.3	
24	多々良 Tatara, Gunma	2016	顔料インクジェットプリント	100 × 133.3	
25	多々良 Tatara, Gunma	2016	顔料インクジェットプリント	100 × 133.3	
26	九十九里 Kujukuri, Chiba	2016	顔料インクジェットプリント	100 × 133.3	
27	城沼 Jonuma, Gunma	2016	顔料インクジェットプリント	100 × 133.3	
28	八戸 Hachinohe, Aomori	2014	顔料インクジェットプリント	100 × 133.3	
29	霞ヶ浦 Kasumigaura, Ibaraki	2015	顔料インクジェットプリント	100 × 133.3	

スタン・アンダソン

1	紙漉き作品 1		樹皮、木、イノシシの骨	130×146×6	No.1～31
2	紙漉き作品 2		樹皮、木、カモシカの骨	140×135×6	個人蔵
3	紙漉き作品 3		樹皮、木	130×110×15	
4	紙漉き作品 4		樹皮、木	110×147×15	
5	紙漉き作品 5		樹皮、木	135×65×7	
6	犬の散歩道－暮坂高原古道再生プロジェクト(部分)	2015	樹皮、木	180×290×25	
7	紙漉き作品(六合の地図)		樹皮、木	108×110×7	
8	立体作品		樹皮、木、動物の骨	186×136×100	
9	パステル作品		パステル・板	36×30×2	
10	陶板(鳥)		陶板	27×48×1	
11	陶板(イノシシ)		陶板	19×24×1.5	
12	陶器(犬の頭部の容器)		陶器	15 × 直径20	
13	陶器(イノシシ)		陶器	5×11×5	
14	お香立て		陶器	10×9×2	
15	一輪挿し		陶器	7×直径10	
16	動物の絵柄の紙漉き作品 14点		樹皮、貝殻	直径 約30	
17	ドローイング 1		パステル・紙	54×40	
18	ドローイング 2		パステル・紙	54×40	
19	ドローイング 3		パステル・紙	79×109	

スタン・アンダソン

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm ／上映時間	
20	ドローイング 4		墨・紙	79×109	
21	ドローイング(11点)		鉛筆・紙	30×23	
22	スケッチ帳				
23	ランプ		木ほか	45×50×45	
24	ドリームキャッチャーとその材料		樹皮、木の実の殻、綿、貝殻、糸ほか	直径50	
25	正月飾り 1		木	97×15	
26	正月飾り 2		木	120×40	
27	鹿の頭の骨			81×59×23	
28	道具				
29	書籍				
30	地図				
31	スタン・アンダソン 作品・活動記録写真				
32	『陽春の道』(製作:日本映画大学)	2015	映像	25分	日本映画大学

秋山さやか

1	ハミルトンをあるく 2008年4月23日～5月16日	2008	ししゅう糸、もめん糸、毛糸、リボン、ひも、ボタン、ビーズ、スパンコール、インク、染料、紫キャベツ、紅茶、コーヒー、スパゲッティ、入浴剤、値札、まち針、などなど… ハミルトンでみつけた素材／椿、雁皮、三椏	15点組より	No.1～3 作家蔵
2	あるく 私の生活形 東京駅～ 相模大野～東京駅～日本橋～東京駅 2012年 7月19日 7月25日, 26日, 27日, 30日, 8月8日,13日 8月22日～9月7日	2012	さまざまな糸、リボン、東京駅の赤レンガのかけら、切符、キーホルダーやストラップ、お土産やお弁当の包み、歯のつめ物、などなど…東京駅周辺でみつけた素材／ ポリエステル布に昇華プリント	95×90×90	
3	はがれる あふれる	2016	館林と大宮と東京駅で出逢ったさまざまな物、いろいろな糸		

日比野克彦

1	DNA PLAIN	2009	段ボール、水性絵具・紙		
2	揚舟流星群	2016	糸、紙(作られた舟は約1190隻)		

◎印刷物・会場作成物

・図録　B5判変形（25.7×19.0cm）　80頁
内容：
ごあいさつ
謝辞
目次
「大地に立って／空を見上げて―風景のなかの現代作家」
（松下和美）
会場図面
図版
　瀬尾夏美
　ALIMO
　笹井青依
　中西信洋
　シンゴ ヨシダ
　笹岡啓子
　スタン・アンダソン
　秋山さやか
　日比野克彦
作家略歴・主要参考文献
Biographies
出品リスト
編集：松下和美（群馬県立館林美術館学芸員）
翻訳：小川紀久子
デザイン：栗原幸治（クリ・ラボ）
制作：印象社
印刷：株式会社東京印書館
発行：群馬県立館林美術館
発行日：2016年10月

・展覧会ドキュメント　B5判変形（25.7×19.0cm）　12頁
会場写真
日比野克彦ワークショップ「段ボール揚舟造船所」
館林Re-project
館林Re-projectの「残して欲しい建物30選」
編集：松下和美（群馬県立館林美術館学芸員）
写真：長塚秀人
翻訳：小川紀久子
デザイン：栗原幸治（クリ・ラボ）
制作：印象社
印刷：株式会社東京印書館
発行：群馬県立館林美術館
発行日：2016年12月

・ポスター　B2
・チラシ　A4
デザイン：栗原幸治（クリ・ラボ）
制作：印象社
・ジュニアガイド　蛇腹折り、18.0×78.0cm（仕上がりサイズB6）
デザイン：栗原幸治（クリ・ラボ）
制作：インターパブリカ

・パネル
挨拶2枚、「揚げ舟について」、「展示作品について」（日比野克彦展示）、
スタン・アンダソン略歴、「館林Re-projectとは」、「建物へのオマージュ
「再利用の可能性はその使用建材に」」、「館林Re-projectの「残して欲
しい建物30選」」各1枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事
（長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略）

[新聞等]
・朝日ぐんま
11.18
「「大地に立って／空を見上げて―風景のなかの現代作家」風景をつく
る人と自然の営みについて考えて」＊〈文化紀行〉（学芸員 松下和美）
・ぐんま経済新聞
12.1
「風景の中の現代作家展 館林をインスタレーション 県立館林美術館」
＊
・上毛新聞
9.22
「風景生かし作品 大地に立って／空を見上げて―風景のなかの現代
作家」〈おすすめ企画展〉
10.9
「現代作家9人「自然と人」表現 館林美術館」
・群馬よみうり ビバ！アミーゴ
10.28
「美術館・博物館を訪ねよう 大地に立って／空を見上げて―風景のな
かの現代作家」＊
・両毛新聞
10.14
「大地に立って／空を見上げて 群馬県立館美術館」＊
・The Japan Times
10.5
「Standing on the Earth, Looking Up into the Sky」[Culture: Art]

[定期刊行物]
・ギャラリー

10月号
「大地に立って／空を見上げて―風景のなかの現代作家」〈今月の展覧会50＋〉
・芸術新潮
11月号
「大地に立って　空を見上げて」〈全国展覧会情報〉
・博物館研究
Vol.51 No.11
「群馬県立館林美術館」〈展覧会（美術）〉
・美術手帖
10月号
「大地に立って／空を見上げて―風景のなかの現代作家」〈ART NAVI〉
・raifu
10月号、11月号、12月号
「群馬県立館林美術館」〈Art＆StageEvent〉

[ウェブ]
・artscape
1月15日号
「大地に立って 空を見上げて　風景のなかの現代作家」、「フードスケープ　私たちは食べものでできている」（学芸員レポート）（住友文彦）
*

◎放送

〔テレビ〕

・館林ケーブルテレビ
11.14-20
「館林美術館 秋の展覧会「大地に立って／空を見上げて」」〈う・ら・ら〉

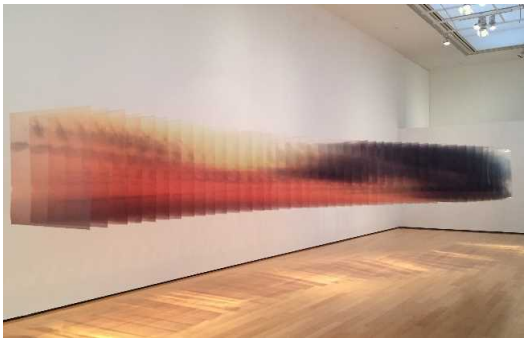
〔ラジオ〕

・FM桐生
11.8
「企画展示「大地に立って／空を見上げて―風景のなかの現代作家」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
11.10
「企画展示「大地に立って／空を見上げて―風景のなかの現代作家」上映会＋アーティスト・トークのお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
11.17
「たてび☆びじゅつ部「心の風景を縫おう」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

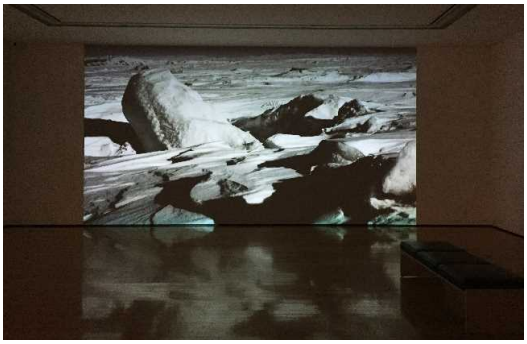
◎関連事業

・アーティスト・トーク
10.8
講師：ALIMO、中西信洋、シンゴ ヨシダ（出品作家）
10.23
講師：笹井青依、笹岡啓子（出品作家）
11.23
講師：秋山さやか
・日比野克彦ワークショップ「段ボール揚舟造船所」
10.29
講師：日比野克彦（出品作家）
・「館林Re-project」関連ワークショップ「ブリコラージュ・アート」
11.5
講師：亀山知英（造形作家）
・小森はるか＋瀬尾夏美「波のした、土のうえ」上映会＋アーティスト・トーク
11.13
講師：小森はるか（映像作家）、瀬尾夏美（出品作家）
・たてび☆びじゅつ部
11.23「心の風景を縫おう」
講師：秋山さやか（出品作家）
・レクチャー＆ツアー「群馬県立館林美術館の建築とランドスケープ・デザイン」
10.30
講師：布施茂（fuse-atelier、武蔵野美術大学教授）、長谷川浩己（オンサイト計画設計事務所パートナー、武蔵野美術大学教授）
・学芸員による作品解説会
10.16、11.12
・たてび☆キッズウォーク
10.15、11.12

展示室1



展示室2



展示室3

展示室4

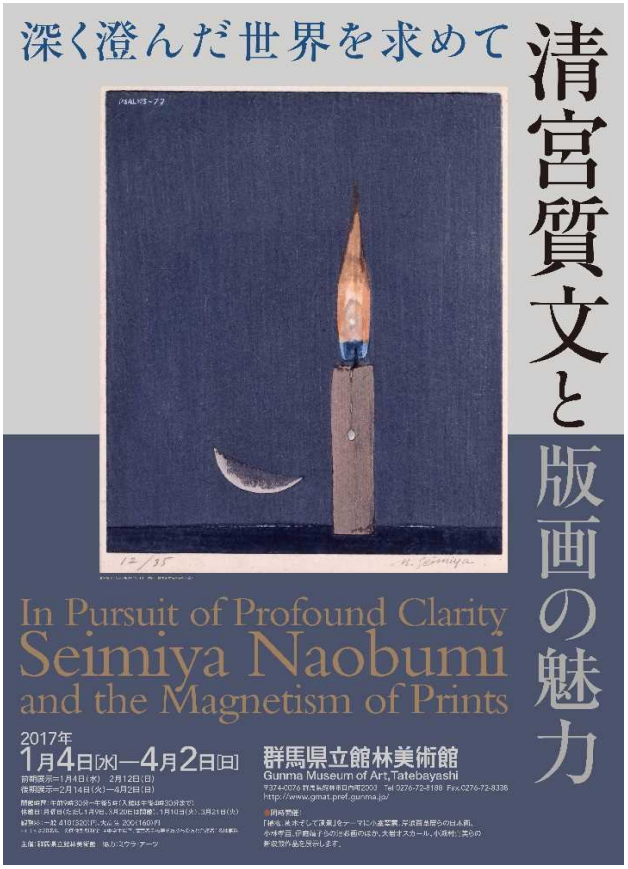
4. 深く澄んだ世界を求めて－清宮質文と版画の魅力

会期　　平成29年1月4日(水)～4月2日(日)
　　前期展示＝1月4日(水)～2月12日(日)
　　後期展示＝2月14日(火)～4月2日(日)
会場　　展示室2
主催　　群馬県立館林美術館
協力　　ミウラ・アーツ
観覧料　　一般 410(320)円、大高生 200(160)円
　　(　)内は、20名以上の団体割引料金

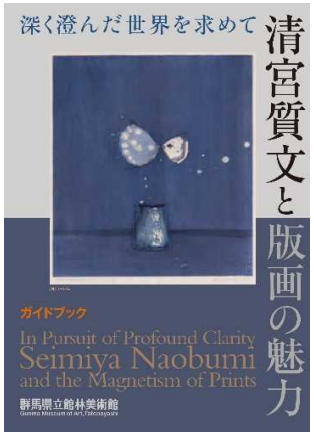
2017年に生誕100年を迎えた木版画家・清宮質文(1917-1991)の作品は、静謐で詩的な心象世界で知られる。画家・清宮彬の息子として東京に生まれた清宮質文は、中学生の頃にエドヴァルト・ムンクの版画に強い感動を覚えるが、本格的に版画に向き合うまでには比較的長い時間を要した。1942年、東京美術学校油画科を卒業後、長野や東京の美術教師、商業デザイン会社勤務を経て、1953年、グループ展をきっかけに本格的な木版画家としての道を歩むこととなる。以後、春陽会展や個展を中心に作品を発表し、洗練、浄化された世界を追求し続けた。「外の限界を拡げることは不可能ですが、内面の世界を拡げることは無限に可能です」。これは、清宮芸術を語る時、最も多く引用される清宮自身が書いた言葉である。自らの内なる世界を生涯旅した清宮は、切り詰めた形と深く澄んだ色彩によって、小さな木版画の中に無限に拡がる抒情の詩を謳い続けたのである。

当館は清宮質文の寄託作品を41点収蔵している。本展では摺りが生み出す複雑な色調が特徴の木版画や、深い詩情の世界へと誘うガラス絵、水彩画などを通して清宮の魅力に迫ることを目指した。また、清宮が影響を受けたオディロン・ルドン、ムンクなどの海外作家をはじめ、1930年代の都市風景を題材に創作版画の分野で活躍した館林出身の藤牧義夫、エッチングを用いて点と線描による詩情豊かな世界を求めた南桂子、清廉な詩的精神を銅版画のなかで自在に展開する深沢幸雄ら、当館と群馬県立近代美術館の収蔵作品を併せて展示し、多様な版画の魅力を紹介した。多くの来館者に楽しまれる展覧会となった。

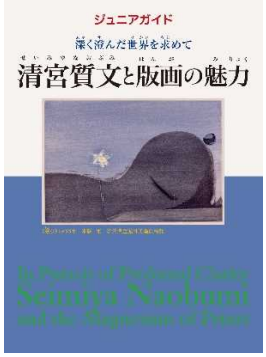
会期中は、「清宮質文 詩想の彼方へ」と題した記念講演会をはじめ、「私にとっての水彩とは、なにかヴァイオリンという感じがします」と語った清宮に因んだ記念コンサート「清宮質文と音楽－寡黙な光」、ワークショップ「ガラス絵－記憶の中の光」、「版表現」をテーマとした4回連続の「たてび土曜レクチャー」など、多彩な関連事業を開催した。



ポスター



ガイドブック



ジュニアガイド

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行)cm (版画はイメージサイズ)	備考 ＊所蔵(記載のない作品は、群馬県立館林美術館蔵) ＊展示期間(記載のない作品は、全期間展示)
1	清宮質文	ふるさとのうた(習作)	1957	木版・紙	17.2×12.7	個人蔵
2		むかしのはなし	1958	木版・紙	8.1×16.6	寄託作品
3		葦	1958	木版・紙	21.6×18.7	寄託作品
4		古い日	1960	木版・紙	17.2×14.4	寄託作品
5		幼きもの	1963	木版・紙	24×21.4	寄託作品
6		蝶	1963	木版・紙	24.7×22.2	寄託作品
7		眠り	1966	木版・紙	19.8×27.8	寄託作品
8		夏の終り	1967	木版・紙	10.4×22.3	寄託作品
9		九月の海辺	1970	木版・紙	13.4×23.4	寄託作品
10		歳月	1970	木版・紙	18.3×25.8	寄託作品
11		暗い夕日 (版画集『暗い夕日』1)	1972	木版・紙	21.5×19.3	寄託作品
12		冬 (版画集『暗い夕日』2)	1972	木版・紙	23.2×22.0	寄託作品
13		トンネルの出口 (版画集『暗い夕日』3)	1972	木版・紙	23.5×20.0	寄託作品
14		虜囚の窓 (版画集『暗い夕日』4)	1972	木版・紙	24.6×20.0	寄託作品
15		夕方の静物 (版画集『暗い夕日』5)	1972	木版・紙	23.3×22.0	寄託作品
16		窓のランタン	1972	木版・紙	24.4×14.2	寄託作品
17		窓のカンテラ (版画集『暗い夕日』6)	1972	木版・紙	24.4×14.3	寄託作品
18		入日 (版画集『暗い夕日』7)	1972	木版・紙	16.2×25.8	寄託作品
19		町外れ (版画集『暗い夕日』8)	1972	木版・紙	13.8×22.4	寄託作品
20		夕日の静物 (版画集『暗い夕日』9)	1972	木版・紙	13.9×22.3	寄託作品
21		壜の中の魚 (版画集『暗い夕日』10)	1972	木版・紙	20.2×22.6	寄託作品
22		深夜の蝋燭	1974	木版・紙	17.8×15.1	寄託作品
23		星占(去りゆく凶星)	1975	木版・紙	15.2×17.9	寄託作品
24		秋の夕日	1976	木版・紙	16.0×14.3	寄託作品
25		われむかしの日いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.1×13.0	寄託作品
26		われむかしの日いにしえの年をおもえり(『駒井哲郎ブックワーク』より)	1982	木版・紙	15.1×13.0	寄託作品
27		黒夜の鳥	1982	木版・紙	13.9×17.5	寄託作品
28		夢の中へ	1983	木版・紙	15.7×6.9	寄託作品
29		秋の午後	1985	木版・紙	11.0×23.4	寄託作品
30		なんじの革嚢にわが涙を	1985	木版・紙	17.8×16.8	寄託作品
31		夕日のとり	1985	木版・紙	7.9×16.0	寄託作品
32		晩夏	1985	木版・紙	6.8×7.0	寄託作品
33		月と運河(試作)	1987	木版・紙	16.3×16.5	寄託作品
34		作品	1981	水彩・紙	9.8×16.1	寄託作品
35		未完(絶筆)	1991	水彩・紙	20.8×24.5	寄託作品
36		未完(絶筆)	1991	水彩・紙	22.3×30.0	寄託作品
37		失題	1983	モノタイプ・紙	20.8×16.2	寄託作品
38		失題	1983	モノタイプ・紙	19.5×11.7	寄託作品
39		失題	1983	モノタイプ・紙	21.2×16.2	寄託作品
40		北辺の小屋	1971	ガラス絵	15.6×21.4	寄託作品
41		冬の夕(絶筆)	1991	ガラス絵	12.3×16.2	寄託作品
42		未完(絶筆)	1991	ガラス絵	12.4×16.5	寄託作品
43		水彩・スケッチ・ドローイング				個人蔵
44		《葦》版木	1958	桂		個人蔵 前期展示
45		《幼きもの》版木	1963	桂		個人蔵 前期展示

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行)㎝ (版画はイメージサイズ)	備考 ＊所蔵(記載のない作品は、群馬県立館林美術館蔵) ＊展示期間(記載のない作品は、全期間展示)
46	清宮質文	《蝶》版木	1963	桂		個人蔵 前期展示
47		《九月の海辺》版木	1970	桂		個人蔵 後期展示
48		《町外れ(版画集『暗い夕日8』)》版木	1972	桂		個人蔵 後期展示
49		《夕日のとり》版木	1985	桂		個人蔵 後期展示
50		「雑記帖」など				個人蔵
51	駒井哲郎	W・H・ハドソン『夢を追う子』「しんきろうの国の人々」(『駒井哲郎ブックワーク』より)	1982	エッチング・紙 (渡辺達正刷り)	41.3×31.5 (ペーパー サイズ)	寄託作品
52	小磯良平	『駒井哲郎ブックワーク』より	1982	エッチング・紙 (中林忠良刷り)	40.7×31.7 (ペーパー サイズ)	寄託作品
53	浜田知明	見えない壁 (『駒井哲郎ブックワーク』より)	1982	エッチング・紙	41.0×31.5 (ペーパー サイズ)	寄託作品
54	オディロン・ルドン	『聖アントワーヌの誘惑』第一集 I ‥‥まず水溜り、ついで娼婦、寺院の一角、兵士の顔、後脚で立った二頭の白い馬が引く戦車	1888	リトグラフ・紙	29.1×20.8	群馬県立近代美術館蔵 前期展示
55		『聖アントワーヌの誘惑』第一集 Ⅲ‥‥そして空から舞い降りた大きな鳥が彼女の髪のてっぺんに襲いかかる‥‥	1888	リトグラフ・紙	18.9×16.0	群馬県立近代美術館蔵 前期展示
56		『聖アントワーヌの誘惑』第一集 Ⅳ 彼はブロンズの壺を持ち上げる	1888	リトグラフ・紙	27.4×19.5	群馬県立近代美術館蔵 前期展示
57		『聖アントワーヌの誘惑』第一集 Ⅴ つづいて魚の胴体に人間の頭をつけた奇妙な生き物が現れた	1888	リトグラフ・紙	27.5×17.0	群馬県立近代美術館蔵 前期展示
58		『聖アントワーヌの誘惑』第一集 Ⅵ それはバラ色の冠をいただいた死者の頭である。それが真珠のように白い女の胴体の上にのっている	1888	リトグラフ・紙	29.6×21.8	群馬県立近代美術館蔵 後期展示
59		『聖アントワーヌの誘惑』第一集 Ⅷ そしてあらゆる種類の恐ろしい動物が現れる	1888	リトグラフ・紙	31.2×23.3	群馬県立近代美術館蔵 後期展示
60		『聖アントワーヌの誘惑』第一集 Ⅸ いたるところで瞳が焔をはく	1888	リトグラフ・紙	20.4×15.8	群馬県立近代美術館蔵 後期展示
61		『聖アントワーヌの誘惑』第一集 Ⅹ‥‥そして太陽の円光の中にイエス・キリストの顔が輝く	1888	リトグラフ・紙	28.3×23.0	群馬県立近代美術館蔵 後期展示
62	ベン・ニコルソン	『ギリシャ・トルコ風の形』二つのトルコ風の形	1967	エッチング・紙	24.5×18.3	群馬県立近代美術館蔵 前期展示
63		『ギリシャ・トルコ風の形』エーゲ海	1967	エッチング・紙	18.5×30.3	群馬県立近代美術館蔵 前期展示
64		『ギリシャ・トルコ風の形』トルコ風の日時計と木	1967	エッチング・紙	34.0×22.5	群馬県立近代美術館蔵 前期展示
65		『ギリシャ・トルコ風の形』円柱と木	1967	エッチング・紙	29.5×20.6	群馬県立近代美術館蔵 後期展示
66		『ギリシャ・トルコ風の形』トルコ風の形と葉	1967	エッチング・紙	32.2×28.0	群馬県立近代美術館蔵 後期展示
67		『ギリシャ・トルコ風の形』パトモス修道院	1967	エッチング・紙	35.0×45.5	群馬県立近代美術館蔵 後期展示
68	エドヴァルト・ムンク	月光 I	1896	木版・紙	40.3×47.8	群馬県立近代美術館蔵 前期展示
69		少女の頭部	1902	ドライポイント・紙	31.9×24.0	群馬県立近代美術館蔵 前期展示

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行)㎝ (版画はイメージサイズ)	備考 ＊所蔵(記載のない作品は、群馬県立館林美術館蔵) ＊展示期間(記載のない作品は、全期間展示)
70	エドヴァルト・ムンク	その翌朝	1894	ドライポイント、アクアチント・紙	19.1×27.3	群馬県立近代美術館蔵 後期展示
71		クリスティアニア・ボヘームⅡ	1895	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	29.4×39.4	群馬県立近代美術館蔵 後期展示
72	藤牧義夫	太陽と自画像(久野歌津夫宛書簡断片)	1929	木版、手彩色・紙	8.5×8.0	前期展示
73		城沼の冬	1933	木版・紙	11.2×14.0	前期展示
74		つき	1934	木版、手彩色・紙	12.7×12.8	群馬県立近代美術館蔵 前期展示
75		朝	1932	木版・紙	12.0×9.7	前期展示
76		島のぢいさん	1933	木版・紙	15.1×10.2	前期展示
77		『新版画』第17号　表紙	1935	木版・紙	29.0×22.0	前期展示
78		年賀状(昭和5年用)	1929	木版・紙	14.2×9.3	後期展示
79		しねま	1932	木版・紙	15.3×11.4	後期展示
80		達磨	1933	木版・紙	18.2×21.3	寄託作品 後期展示
81		井の頭風景	1934	木版・紙	14.8×16.9	寄託作品 後期展示
82		まくら橋	1934	木版・紙	12.2×9.2	後期展示
83		裏街	1935	木版・紙	15.0×12.0	後期展示
84	南桂子	月	1954	エッチング、サンドペーパー・紙	32.5×24.0	前期展示
85		公園	1956	銅版画・紙	29.0×29.1	前期展示
86		羊飼の少女	1957	エッチング、サンドペーパーほか・紙	38.9×28.1	前期展示
87		猫を抱く少女	1963	エッチング、サンドペーパー・紙	34.7×23.7	前期展示
88		村落の牝牛	1963	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	36.0×29.2	後期展示
89		葉の茂みの中の鳥	1965	エッチング、ソフトグランドエッチング、ディープエッチング、サンドペーパー・紙	28.0×35.7	後期展示
90		2匹の魚	1970	エッチング、ソフトグランドエッチング、サンドペーパー・紙	28.2×34.8	後期展示
91		マロニエと少女	1975	エッチング、サンドペーパー・紙	34.8×28.3	後期展示
92	深沢幸雄	骨疾D	1955	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	24.2×18.1	寄託作品 前期展示
93		母子像	1956	メゾチント・紙	23.3×36.7	寄託作品 前期展示
94		橋	1958	ディープエッチング、エッチング、ソフトグランドエッチング、シュガーアクアチント・紙	36.5×31.8	寄託作品 前期展示
95		新しい夜	1961	ディープエッチング、アクアチント、メゾチント、エッチング、ルーレット・紙	36.5×34.0	寄託作品 前期展示
96		假面	1961	ディープエッチング、エッチング、シュガーアクアチント、アクアチント・紙	29.9×19.2	寄託作品 後期展示
97		残像	1961	ディープエッチング、エッチング、ソフトグランドエッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント・紙	30.0×36.5	寄託作品 後期展示

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行)㎝ (版画はイメージサイズ)	備考 ＊所蔵(記載のない作品は、群馬県立館林美術館蔵) ＊展示期間(記載のない作品は、全期間展示)
98	深沢幸雄	望郷	1962	ディープエッチング、アクアチント、エッチング、シュガーアクアチント・紙	23.2×13.4	寄託作品 後期展示
99		憂愁の裸像	1992	エッチング、ディープエッチング、アクアチント、メゾチント・紙	36.1×69.2	寄託作品 後期展示
100	柄澤齊	樹々の家族	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
101		ダンス	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
102		階段	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
103		あーん	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
104		こぶし	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
105		塔	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
106		影	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
107		雨あがり	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
108		たまむし	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
109		夜の鳥	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
110		ひがんばな	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
111		回廊	2004	木版・紙	19.0×22.0	前期展示
112		アンテナ	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
113		ホッホ	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
114		いざない	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
115		花火	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
116		翅	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
117		秋天	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
118		環	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
119		風の音	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
120		果実	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
121		藍	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
122		脈	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
123		メランコリア	2004	木版・紙	19.0×22.0	後期展示
124	山中現	まど	1982	木版・紙	46.2×32.2	寄託作品 前期展示
125		7	1983	木版・紙	24.8×25.8	寄託作品 前期展示
126		夜話Ⅰ	1986	木版・紙	52.4×40.0	寄託作品 前期展示
127		星夜Ⅳ	1987	木版・紙	69.2×48.3	寄託作品 前期展示
128		二つの時	1993	木版・紙	48.4×66.5	寄託作品 後期展示
129		カタチノアツマルバショ	1994	木版・紙	24.5×35.0	寄託作品 後期展示
130		みどりのかたち	2000	木版・紙	62.6×49.0	寄託作品 後期展示
131		陰の刻	2005	木版・紙	51.8×45.0	寄託作品 後期展示

◎印刷物・会場作成物

・ガイドブック　A5判（21.0×14.8cm）16頁
内容：
清宮質文について
図版20点、作品解説
主要参考文献
写真協力
編集・発行：群馬県立館林美術館
担当：徳江庸行／佐原しおり
デザイン：馬面俊之
制作：コギト

・ポスター　B2
・チラシ　A4
・ジュニアガイド　蛇腹折り、18.0×77.8cm
デザイン：馬面俊之
制作：コギト

・パネル
挨拶2枚（和英文）、作家解説1枚、作家ポートレート1枚、技法解説3枚、
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事
（長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略）

[新聞等]
・朝日新聞
1.18
「深く澄んだ世界を求めて 清宮質文と版画の魅力」〈群馬マリオン〉
3.14（夕刊）
「「画は祈り」清宮質文 心の旅路 生誕100年、木版画業を展示」＊
・朝日ぐんま
3.24
「清宮質文展 館林美術館で来月2日まで 清らかで深遠な世界 版画や水彩画、ガラス絵など一堂に」
・おおたタイムス
1.28
「清宮質文と版画の魅力」＊
・産経新聞
1.29
「「清宮質文と版画の魅力」展 無限に広がる叙情の詩」＊
・上毛新聞
1.5
「館林美術館で清宮質文展 幻想的な木版の世界」
1.7
「深く澄んだ世界を求めて「清宮質文と版画の魅力」」〈展覧会〉
3.7
「「清宮質文と版画の魅力」展より① 清宮質文《葦》」＊〈アートを愉しむ〉
3.8
「「清宮質文と版画の魅力」展より② 清宮質文《蝶》」＊〈アートを愉しむ〉
3.9
「「清宮質文と版画の魅力」展より③ 清宮質文《九月の海辺》」＊〈アートを愉しむ〉
3.10
「「清宮質文と版画の魅力」展より④ 清宮質文《入日（版画集『暗い夕日』7）》」＊〈アートを愉しむ〉
3.11
「「清宮質文と版画の魅力」展より⑤ 清宮質文《深夜の蝋燭》」＊〈アートを愉しむ〉
・新美術新聞
2.1
「深く澄んだ世界を求めて 清宮質文と版画の魅力」
・読売新聞
2.18
「版画と共鳴 美術館で演奏 あす 館林 清宮質文展で記念企画」＊
・群馬よみうり ビバ！アミーゴ
1.6
「深く澄んだ世界を求めて―清宮質文と版画の魅力」〈Event Information〉
・両毛新聞
12.12、12.19
「清宮質文と版画の魅力 群馬県立館林美術館」＊

[定期刊行物]
・月刊アートコレクターズ
2月号
「深く澄んだ世界を求めて―清宮質文と版画の魅力」〈展覧会ガイド〉
・美術の窓
1月号
「深く澄んだ世界を求めて―清宮質文と版画の魅力」〈話題の展覧会〉
2月号
「深く澄んだ世界を求めて 清宮質文と版画の魅力」〈必見！！今年の展覧会 BEST170〉
・まんまる
3月号
「「深く澄んだ世界を求めて―清宮質文と版画の魅力」展」＊〈ふらっとアート日和〉
・ミセス
4月号
「「深く澄んだ世界を求めて―清宮質文と版画の魅力」展」〈Mrs View〉

・raifu
1月号、2月号、3月号
「群馬県立館林美術館」〈Art＆StageEvent〉

◎放送

〔テレビ〕
・NHK
2.26
「清宮質文と版画の魅力」〈日曜美術館アートシーン〉
・館林ケーブルテレビ
3.8−10
「ガラス絵ワークショップ」〈CC9ニュース〉

〔ラジオ〕
・FM桐生
12.15
「企画展示「深く澄んだ世界を求めて－清宮質文と版画の魅力」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
12.20
「企画展示「深く澄んだ世界を求めて－清宮質文と版画の魅力」 記念講演会のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
1.5
「企画展示「深く澄んだ世界を求めて－清宮質文と版画の魅力」 記念講演会のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
2.14
「記念コンサート「清宮質文と音楽－寡黙な光」のお知らせ」〈ぐいきいき情報〉
・FM太郎
1.17
「たてび☆キッズウォークのお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
3.7
「企画展示「深く澄んだ世界を求めて－清宮質文と版画の魅力」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

・記念講演会
1.8
「清宮質文　詩想の彼方へ」
講師：住田常生氏（高崎市美術館主任学芸員）
・記念コンサート
2.19
「清宮質文と音楽－寡黙な光」
出演：水谷晃（ヴァイオリン）、小川加恵（フォルテピアノ）
・ワークショップ
3.5
「ガラス絵－記憶の中の光」
講師：山中現（出品作家）
・学芸員による作品解説会
1.15、2.16、3.25
・たてび☆キッズウォーク
1.21、2.25、3.25
・たてび土曜レクチャー「版表現」
2.18
「南桂子－銅版画のひみつ」神尾玲子（当館学芸員）
2.25
「型染－くりかえす」佐々木正直（当館館長）
3.4
「柄澤齊 ふれあう平面」佐原しおり（当館学芸員）
3.11
「ゆるゆる目線でいく！モダン版画珍道中」伊藤佳之（福沢一郎記念館学芸員）

展示室2

展示室2

展示室2

展示室2

C コレクション展示記録

第1期　4月16日（土）～6月26日（日）
展示室1
「近現代の彫刻Ⅰ　彫刻家による動物たちへの眼差し」

第2期　7月16日（土）～9月19日（月・祝）
展示室1
「近現代の彫刻Ⅱ　交差する日本と西洋」

第3期　10月8日（土）～12月4日（日）
展示室4
「ポンポンとフランスの風景」

第4期　1月4日（水）～4月2日（日）
展示室1
「近現代の彫刻Ⅲ」

第4期　1月4日（水）～4月2日（日）
展示室3、4
「植物、樹木そして風景」

◎印刷物・会場作成物

「近現代の彫刻Ⅰ　彫刻家による動物たちへの眼差し」
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
「近現代の彫刻Ⅱ　交差する日本と西洋」
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
「ポンポンとフランスの風景」
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
「近現代の彫刻Ⅲ」
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
「植物、樹木そして風景」
・パネル1枚
・会場配布用作品リスト
・ジュニアガイド　蛇腹折り、18.0×77.8cm
デザイン：馬面俊之
制作：コギト

ジュニアガイド

近現代の彫刻Ⅰ　彫刻家による動物たちへの眼差し
平成28年4月16日(土)～6月26日(日)　展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	バン	1923 頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンポン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927 - 1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
11	チャーナ・オルロフ	魚／噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
12	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
13	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
14	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
15	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
16	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
17	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
18	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
19	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
20	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻Ⅱ　交差する日本と西洋
平成28年7月16日(土)～9月19日(月・祝)　展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908 － 1932	銅	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 － 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930 － 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
7	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
8	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	79.0 × 110.5 × 158.5	群馬県立館林美術館
9	鶴岡政男	転がっている首	1950	ブロンズ	16.8 × 21.0 × 17.5	群馬県立館林美術館
10	鶴岡政男	ロレンスの顔	1951	ブロンズ	6.0 × 4.5 × 5.5	群馬県立館林美術館
11	鶴岡政男	男の顔	1951	ブロンズ	9.2 × 4.5 × 6.5	群馬県立館林美術館
12	高田博厚	海	1962	ブロンズ	77.0 × 34.0 × 29.0	群馬県立館林美術館
13	佐藤忠良	男の顔	1965	ブロンズ	32.5 × 20.0 × 23.0	群馬県立館林美術館
14	勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0 × 49.0 × 25.0	群馬県立館林美術館　寄託
15	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
16	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
17	イサムノグチ	リス	1984 － 1988	ブロンズ	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
18	掛井五郎	人間の問題研究Ⅲ 四つの足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0	群馬県立館林美術館　寄託
19	岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレススチール、カンヴァス、合板	183.0 × 200.0 × 398.0	群馬県立館林美術館　寄託
20	籔内佐斗司	縁結び童子	2013	ブロンズ、彩色	13.0 × 8.0 × 8.0	群馬県立館林美術館

ポンポンとフランスの風景
平成28年10月18日(土)～12月4日(日)　展示室 4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	二羽の雌雉	不詳	鉛筆、グワッシュ、インク・紙	27.0 × 45.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	2つの姿勢の雌雉	不詳	鉛筆、グワッシュ・紙	32.4 × 17.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	仔牛	1900	石膏	11.4 × 14.1 × 7.8	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	ブーヴルイユの教会	1900 頃	石膏	14.8 × 14.0 × 12.5	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	カイエンヌの雌鶏	1906 - 1924	インク・紙	9.2 × 8.6	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908 - 1932	銅板	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンポン	眠っている雄鶏	1923	石膏	23.0 × 30.5 × 12.6	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ポンポン	コンドル	1923	石膏	25.5 × 18.0 × 9.3	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ポンポン	七面鳥	1925	インク・紙	13.5 × 13.0	群馬県立館林美術館
13	フランソワ・ポンポン	鷲鳥	1926	石膏	25.9 × 21.7 × 13.8	群馬県立館林美術館
14	フランソワ・ポンポン	鳩「ニコラ」	1926 - 1927	石膏	30.4 × 27.7 × 17.7	群馬県立館林美術館
15	フランソワ・ポンポン	切断された巣の雌鳩	1928 - 1931	石膏	10.6 × 29.4 × 19.8	群馬県立館林美術館

フランソワ・ポンポン関連資料より

写真	5点	群馬県立館林美術館
絵はがき	43点	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻Ⅲ
平成29年1月4日(水)～4月2日(日) 展示室１

№.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906 － 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 － 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 － 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	バン	1923 頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	合金	24.0 × 44.0 × 12.4	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 － 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンポン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927 － 1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ポンポン	オラン・ウータン(頭部)	1930	ブロンズ	33.0 × 22.5 × 20.2	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ポンポン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908 － 1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
13	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
14	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
15	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
16	イサム・ノグチ	リス	1984 － 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
17	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
18	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
19	アーブラハム＝ダーフィット・クリスティアン	清らかな人ＸⅠ				

植物、樹木そして風景
平成29年1月4日(水)～4月2日(日) 展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	小瀬村真美	四季草花図	2004 - 2006	映像3点組	9分、23分、5分	群馬県立館林美術館
2	小室翠雲	長興山荘図	1929	紙本墨画淡彩・軸	121.3 × 180.5	群馬県立館林美術館
3		蒼松壽古図・梅花双喜図	1930	絹本彩色・二曲一双屏風	各116.7 × 168.0	群馬県立館林美術館
4	酒井三良	梨畑	1923	絹本彩色・軸	82.5 × 101.2	群馬県立館林美術館
5	礒部草丘	犬吠埼図	1933	絹本彩色・軸	80.0 × 50.4	群馬県立館林美術館
6	岸浪百草居	芭蕉	1928	絹本彩色・軸	145.5 × 90.4	群馬県立館林美術館
7	横尾深林人	館林躑躅公園所見	1937	紙本彩色・軸	44.0 × 55.5	群馬県立館林美術館
8	ピエール・アレシンスキー	手探りで	1974	エッチング、アクアチント・紙	184.8 × 284.5	群馬県立館林美術館
9	ジム・ダイン	フローラの神殿 外箱	1984	ブロンズ、山羊皮、布	56.0 × 40.0 × 7.9	群馬県立館林美術館
10		フローラの神殿 (扉絵) ナンシーの庭の細部	1984	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館
11		フローラの神殿 2.アイリス	1984	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館
12		フローラの神殿 4.チューリップ	1984	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館
13		フローラの神殿 7. アツモリソウ	1984	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館
14		フローラの神殿 12.オーリキュラ	1984	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館
15		フローラの神殿 18.白ユリ	1984	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館
16		フローラの神殿 21.バラ	1984	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館
17		フローラの神殿 27.エジプト・ハス	1984	ドライポイント・紙	45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館
18	日高理恵子	空との距離Ⅲ	2004	岩絵具・麻紙 3点組	左200.0 × 200.0 中150.0 × 150.0 右170.0 × 170.0	群馬県立館林美術館
19	伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162.0 × 123.0	群馬県立館林美術館
20		Untitled	1998	油彩・カンヴァス	183.0 × 393.0	群馬県立館林美術館
21	近藤正勝	Eerie tree by the lake	2006	油彩・カンヴァス	195.0 × 142.0	群馬県立館林美術館
22	大岩オスカール	パン・デ・アスーカル	1995	アクリル絵具・合板	120.0 × 180.0	群馬県立館林美術館
23	山口啓介	花の心臓／被子植物の空気柱	2003	顔料、樹脂・カンヴァス	270.8 × 181.0	群馬県立館林美術館
24		花の心臓／蕊柱	2003	顔料、樹脂・カンヴァス	270.0 × 181.0	群馬県立館林美術館寄託
25	金田実生	冬の呼吸	2004	水溶性クレヨン、鉛筆・紙	155.0 × 174.0	群馬県立館林美術館
26		夜が少しづつ降りる	2005	油彩・紙	154.0 × 165.0	群馬県立館林美術館
27	小林孝亘	Cloud	1999	油彩・カンヴァス	238.0 × 350.0	群馬県立館林美術館
28	トニー・クラッグ	グリーン・リーフ	1981	収集された緑色のプラスティックの破片141個・配置図に従って壁に貼り付け	145.5 × 145.5	群馬県立館林美術館
29	大森暁生	Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0 × 130.0 × 67.0	群馬県立館林美術館寄託

D　彫刻家のアトリエ（別館）展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料（一部複製）を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

第1期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―ウサギをめぐって―」
4月16日（土）～ 6月26日（日）
展示資料：写真（複製）14点、手帳より1頁（複製）、本1冊
当館資料の中の作品写真からウサギの作例を見ていった。ポンポンのウサギの作品は、しゃがんだ形、手足を伸ばして走る形、体を上に起こしてすわる形がある。しゃがんだウサギと走るウサギは1匹だけでなく、二匹の対でも作られた。ポンポンは雑誌の切り抜きをよく集めていたが、その中にはウサギの写真が5点あり、ポンポンのウサギへの関心がうかがわれる。

第2期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―ポンポンのアトリエ―」
7月16日（土）～ 9月19日（月・祝）
展示資料：写真（複製）5点、本1冊、手帳より2頁（複製）、地図資料
ポンポンがパリで住んだアトリエについて、手帳や写真、ポンポンの伝記を参照しながら紹介した。19世紀後半のパリ大改造の喧騒の最中、ポンポンが住んだモンパルナスの様子や、カンパーニュ＝プルミエール通りのアトリエ内部の様子について、伝記の記載をピックアップした。また当館の「彫刻家のアトリエ」内でポンポンのパリのアトリエに由来する物がどれであるか、詳しく解説した。

第3期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―ポンポンと石彫―」
10月8日（土）～12月4日（日）
展示資料：写真（複製）7点、絵はがき（複製）8点、手紙（複製）3点、道具1点
石はポンポンにとって最も親しみ深い素材であった。墓石を彫る大理石職人としてスタートしたポンポンは、ロダンや彫刻家サン＝マルソーのもとで石の下彫り職人として働く。自らの動物彫刻でも、石を多く用い、素材を活かして動物の形態の単純化とともに、高浮彫や石の塊をベースに彫りおこした作品を残した。《シロクマ》の石作品は、他の素材と比べて、動物の骨格や動き、重量の感覚をよく伝える。

第4期
「フランソワ・ポンポン関連資料より―ポンポンと批評家ロベール・レイ―」
1月4日（水）～4月2 日（日）
展示資料：写真（複製）7点、本1冊より13頁（複製）
1920年代にポンポンを高く評価しフランス美術史に位置づけた評論家、ロベール・レイに関する資料を紹介した。1926年のポンポンの評論書からは、ポンポンの人柄や姿など同時代ならではの記述や、ポンポンがロダンについて語った言葉、動物彫刻の原点など、作品理解につながる記述を取り上げ、翻訳した。またロベール・レイの娘の肖像など、当館が所蔵するのレイ家に由来する作品3点を紹介した。

E 入館者数一覧表

企画展示

	有料観覧者							無料観覧者					観覧者合計	入館者合計
	個人			団体			有料合計	小中生	学校団体	身体障害者等	その他	無料合計		
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計								
絵本・動物・地球展 8人の作家が奏でるいのちのうた 4/16-6/26 63日	3,914	149	4,063	104	60	164	4,227	540	271	258	4,035	5,104	9,331	11,633
再発見！ニッポンの立体 7/16－9/19 58日	5,302	251	5,553	74	0	74	5,627	1,715	195	261	6,191	8,362	13,989	17,065
大地に立って／空を見上げて 10/8－12/4 50日	1,768	54	1,822	187	49	236	2,058	203	573	149	4,586	5,511	7,569	10,497
清宮質文と版画の魅力 植物、樹木そして風景（同時開催） 1/4-3/31 75日	5,052	147	5,199	234	0	234	5,433	217	153	266	3,511	4,147	9,580	13,321
企画展示 計 246日	16,036	601	16,637	599	109	708	17,345	2,675	1,192	934	18,323	23,124	40,469	52,516

入館者数は、観覧者数に施設利用者数、教育普及事業参加者数を加えた総数。
平成28年度の総入館者数は、52,516人である。

教育普及

A 講演会・アーティスト・トーク・パフォーマンス

1. 講演会

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.21	あべ弘士講演会「絵本に生きる動物」	あべ弘士(絵本作家)、聞き手:広松由希子(絵本家)	講堂	55
5.21	あべ弘士サイン会	あべ弘士(絵本作家)	講堂	33
1.4	記念講演会「清宮質文　詩想の彼方へ」	住田常生(高崎市美術館学芸員)	講堂	42

2. アーティスト・トーク

開催日	名称	講師	会場	参加者数
8.28	アーティスト・トーク「再発見！野口哲哉」	野口哲哉(出品作家)	エントランスホール、展示室	110
8.28	野口哲哉サイン会	野口哲哉(出品作家)	エントランスホール	38
10.8	アーティスト・トーク	ALIMO、中西信洋、シンゴヨシダ(出品作家)	展示室	42
10.23	アーティスト・トーク	笹井青依、笹岡啓子(出品作家)	展示室	35
11.23	アーティスト・トーク	秋山さやか(出品作家)	展示室	36

あべ弘士講演会「絵本に生きる動物」

記念講演会「清宮質文　詩想の彼方へ」

アーティスト・トーク「再発見！野口哲哉」

中西信洋　アーティスト・トーク

笹井青依　アーティスト・トーク

秋山さやか　アーティスト・トーク

3. レクチャー＆ツアー

当館の建築空間から眺む風景に着想を得た企画展「大地に立って／空を見上げて」の関連行事として、第一工房にて故高橋靴一氏のもとで当館の建築設計に携わった布施茂氏と、敷地のランドスケープ・デザインを担当した長谷川浩己氏を講師に迎え、座学のレクチャーを聞いた後、館内と敷地を巡った。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
10.30	レクチャー＆ツアー「群馬県立館林美術館の建築とランドスケープ・デザイン」	布施茂（fuse-atelier、武蔵野美術大学教授）、長谷川浩己（オンサイト計画設計事務所パートナー、武蔵野美術大学特任教授）	講堂	26

4. ライブペイント

展示会場において、観覧者を前に公開制作を行った。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
4.16	きくちちきライブペイント	きくちちき(絵本作家)	展示室	52
4.16	きくちちきサイン会	きくちちき(絵本作家)	エントランスホール	10

レクチャー＆ツアー「群馬県立館林美術館の建築とランドスケープ・デザイン」

きくちちきライブペイント

B 作品解説会・キッズウォーク・ポンポン・ツアー

1. 学芸員による作品解説会

開催日	展覧会	解説者	会場	参加者数
4.30	絵本・動物・地球展	熊谷ゆう子	展示室	15
5.17	絵本・動物・地球展	熊谷ゆう子	展示室	3
6.1	絵本・動物・地球展	熊谷ゆう子	展示室	4
6.12	絵本・動物・地球展	熊谷ゆう子	展示室	17
7.27	再発見！ニッポンの立体	神尾玲子	展示室	13
8.12	再発見！ニッポンの立体	神尾玲子	展示室	26
9.11	再発見！ニッポンの立体	神尾玲子	展示室	51
10.16	大地に立って/空を見上げて	松下和美	展示室	15
11.12	大地に立って/空を見上げて	松下和美	展示室	16
1.15	清宮質文と版画の魅力	徳江庸行	展示室	15
2.16	清宮質文と版画の魅力	徳江庸行	展示室	30
3.25	清宮質文と版画の魅力	徳江庸行	展示室	42

2. たてび☆キッズウォーク

ワークシートを持って展示室を自由に探検しながら作品を鑑賞した。

開催日	担当者	会場	参加者数
5.5	齊藤由紀子・齋藤久美	展示室	22
6.18	齊藤由紀子・佐原しおり・竹渕典子	展示室	12
7.23	齊藤由紀子・佐原しおり・齋藤久美子・竹渕典子	展示室	15
8.6	齊藤由紀子・齋藤久美子・竹渕典子	展示室	18
9.10	羽鳥あゆみ	展示室	12
10.15	齊藤由紀子・竹渕典子	展示室	2
11.12	齊藤由紀子・齋藤久美子・竹渕典子	展示室	8
1.21	齊藤由紀子・齋藤久美子・竹渕典子	展示室	4
2.25	齊藤由紀子・齋藤久美子・竹渕典子	展示室	2
3.25	齊藤由紀子・齋藤久美子・竹渕典子	展示室	1

3. ポンポン・ツアー

当館人気のフランソワ・ポンポンの彫刻や公開資料を、学芸員がツアー形式で展示室を巡り、解説を行った。11月6日は別館の資料展示のテーマ「ポンポンと石彫」に関連して、「彫刻家のアトリエ」の製作に関わった石彫家、小野寺優元氏をスペシャルゲストに迎え、お話を伺った。

開催日	解説者	会場	参加者数
6.5	神尾玲子	彫刻家のアトリエ	22
8.21	神尾玲子	彫刻家のアトリエ	50
11.6	小野寺優元（石彫家）、神尾玲子	彫刻家のアトリエ	31
2.5	松下和美	彫刻家のアトリエ	56

学芸員による作品解説会

たてび☆キッズウォーク

ポンポン・ツアー

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.22	あべ弘士ワークショップ「キリンをつくろう」	あべ弘士(絵本作家)	ワークショップ室	29
6.4	山口マオの木版画ワークショップ	山口マオ(絵本作家)	ワークショップ室	17
8.20	群馬県立女子大学奥西ゼミワークショップ「こねこね！お寿司をつくろう～へいらっしゃい！寿司処たてび～」	群馬県立女子大学奥西ゼミ	ワークショップ室	125
8.27	ワークショップ「食品サンプル　リアルなパフェづくり」	大和サンプル製作所	ワークショップ室	27
10.29	日比野克彦ワークショップ「段ボール揚舟造船所」	日比野克彦(出品作家)	講堂	60
11.5	ワークショップ「ブリコラージュ・アート」	亀山知英(造形作家)	ワークショップ室	7
3.5	ワークショップ「ガラス絵－記憶の中の光」	山中現(出品作家)	ワークショップ室	24

1. あべ弘士ワークショップ「キリンをつくろう」

春の企画展示「絵本・動物・地球展」の関連事業として、出品作家のあべ弘士氏を招き、ワークショップを開催した。内容は、段ボール紙を切って組み合わせ、自立するキリンの形を作り、絵の具や布、色紙などの様々な材料を使って装飾するものである。参加者は、思い思いのキリン作りに没頭した。また、制作の合間に語られたゴリラをはじめとした動物の話は興味深く、参加者の耳を楽しませた。完成後、参加者は、色とりどりの個性豊かなキリンたちの前であべ氏と共に記念撮影を楽しんだ。

2. 山口マオの木版画ワークショップ

春の企画展示、「絵本・動物・地球展」の関連事業として、出品作家の山口マオ氏を招き、木版画のワークショップを開催した。制作は、参加者が考えてきた下絵を板に写すところから始まり、摺りまで行われた。山口氏は、下絵の確認から、彫り、摺りまで細やかな指導をしてくださり、久しぶりに彫刻刀を握った参加者も多い中、安心して、それぞれの作品を最後まで作り上げることができた。また、山口氏は、お手本として、参加者一人一人の版を摺ってくださり、参加者は、大満足の様子であった。

3. 群馬県立女子大学奥西ゼミワークショップ「こねこね！お寿司をつくろう～へいらっしゃい！寿司処たてび～」

本事業は、夏休み期間中の児童・生徒を主な対象とした県立女子大学奥西ゼミと連携して行うワークショップであり、4回目の開催となった。今回は、企画展示「再発見！ニッポンの立体」に関連し、日本の立体造形のひとつである食品サンプルをテーマに取り上げた。学生たちがあらかじめ紙粘土で作った日本の食べ物であるお寿司に、参加者が絵の具で本物に似せて彩色し、食品サンプルを完成させた。参加者は、学生たちが放つ「へいらっしゃい！」のかけ声に笑顔になりながら、自分が選んだ寿司ネタを熱心に彩色していた。

4. ワークショップ「食品サンプル　リアルなパフェづくり」

夏の企画展示「再発見！ニッポンの立体」の関連事業として、食品サンプルの製作会社である、大和サンプル製作所から講師を招き、食品サンプルのパフェ作りのワークショップを開催した。透明なプラスティックでできたパフェの器に、ゼラチンのカラフルなソースを入れ、シリコンのホイップクリームを搾り器で搾り出し、巻いていく作業は、パフェ作りの醍醐味であり、参加者を夢中にさせていた。また、食品サンプルである、フルーツやチョコレートなどのトッピングを自由に選んで飾り付ける作業も、参加者を楽しませていた。

5. 日比野克彦ワークショップ「段ボール揚舟造船所」

秋の企画展示「大地に立って／空を見上げて」の関連事業として、出品作家である日比野克彦氏を招き、日比野氏の展示《揚舟流星群》と関連したワークショップを開催した。内容は、揚舟についての簡単なレクチャー後、チームを組んで、大きな段ボール紙から、実物大の揚舟を作り上げるものである。チームで協力し、型紙から舟の部位を切り出し、ボンドで貼り付けた後にたこ糸で縫い付けていった。針を使えない子どもの参加者は、日比野氏のお手本の絵にはしゃぎながら、舟に思い思いの絵を描いたり、色を塗ったりして楽しんだ。完成後、それぞれの揚舟に命名し、展示室まで運んで展示した。3時間という長時間のワークショップであったが、参加者は時間を忘れて揚舟作りに夢中になっていた。

6. ワークショップ「ブリコラージュ・アート」

秋の企画展示「大地に立って／空を見上げて」の関連事業として、「館林Re-project」の活動を行っており、展覧会期中にギャラリーと屋外で展示を行った造形作家の亀山知英氏を招き、ワークショップを開催した。参加者は、ブリコラージュ(日曜大工)・アートの意味や廃材を再利用する意義などについての話を聞きながら、建物の廃材を寄せ集めて組み立てたり、着色したりと、自由な発想で思い思いのブリコラージュ・アートを完成させた。

7. ワークショップ「ガラス絵－記憶の中の光」

冬の企画展示「深く澄んだ世界を求めて－清宮質文と版画の魅力」の関連事業として、清宮のガラス絵に影響を受けた出品作家の山中現氏を講師に迎え、初めての人にも易しいガラス絵のワークショップを開催した。内容は、写真フレームのガラス面にアクリル絵の具や油性ペンを使って絵を描いていくというもの。参加者は、講師に作品や制作過程についての話を伺いながら、ガラス絵独特の発色やにじみの美しさとガラスに描いたときの感触を味わった。

あべ弘士ワークショップ「キリンをつくろう」

山口マオの木版画ワークショップ

群馬県立女子大学奥西ゼミワークショップ「こねこね！お寿司をつくろう～へいらっしゃい！寿司処たてび～」

ワークショップ「食品サンプル　リアルなパフェづくり」

日比野克彦ワークショップ「段ボール揚舟造船所」

ワークショップ「ブリコラージュ・アート」

ワークショップ「ガラス絵－記憶の中の光」

D 創作体験コーナー　みんなのアトリエ「多版木版画摺り体験」

みんなのアトリエは、夏季企画展会期中の事業で、参加者に簡単な創作体験を提供している。平成21年度より、同会期中に「館林邑楽地区小学生木版画展」を開催していることから、テーマの関連を図り、多版木版画摺り体験を内容としている。同一のテーマで開催してきたことから、来館者の周知が広がっている。今回は講師に、木版画家の中村美穂氏を招き、同氏が製作した版により、摺り方の基本や色の重なり方の多様性や美しさを教えていただいた。7月21日、28日、8月11日、18日の各木曜日に全4回開催し、174人が参加した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.21	多版木版画摺り体験	中村美穂	ワークショップ室	43
7.28				46
8.11				48
8.18				37

みんなのアトリエ「多版木版画摺り体験」

みんなのアトリエ「多版木版画摺り体験」

E たてび☆びじゅつ部

「たてび☆びじゅつ部」は誰でも気軽に参加できる無料の造形体験コーナーであり、展覧会に関連した造形体験を企画し、開催した。

1. たてび☆びじゅつ部

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.14	「楽しい動物ぬりえ」①		ワークショップ室	41
6.11	「楽しい動物ぬりえ」②		ワークショップ室	31
9.3	「カラーモールで動物をつくろう」		ワークショップ室	62
11.23	「心の風景を縫おう」	秋山さやか（出品作家）	ワークショップ室	22
3.12	「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」		講堂	53

たてび☆びじゅつ部「楽しい動物ぬりえ」

たてび☆びじゅつ部「カラーモールで動物をつくろう」

たてび☆びじゅつ部「心の風景を縫おう」

たてび☆びじゅつ部「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」

2. 展覧会ポスタープレゼント

当館が保管していた過去の展覧会ポスターを来館者に配布する企画。たてび☆びじゅつ部「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」と同時開催で行い、自分で選んだポスターをワークショップ会場へ持ち込めば、創作体験ができる。参加者は多彩なポスターに見入りながら、お気に入りのポスターを選んでいた。

開催日	名称	会場	参加者数
3.12	展覧会ポスタープレゼント	講堂前通路	104

展覧会ポスタープレゼント

F たてび土曜レクチャー

1. たてび土曜レクチャー「版表現」

当館学芸員やゲスト迎え、美術にまつわるテーマで4週にわたり、レクチャーを行った。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
2.18	南桂子ー銅版画のひみつ	神尾玲子(当館学芸員)	講堂	6
2.25	型染ーくりかえす	佐々木正直(当館館長)	講堂	13
3.4	柄澤齊　ふれあう平面	佐原しおり(当館学芸員)	講堂	7
3.11	ゆるゆる目線でいく！モダン版画珍道中	伊藤佳之(福沢一郎記念館(世田谷)学芸員)	講堂	24

たてび土曜レクチャー「型染ーくりかえす」

たてび土曜レクチャー「ゆるゆる目線でいく！モダン版画珍道中」

G コンサート・映画上映会・読み聞かせ・じゃんけん大会

1. コンサート

「画材というものは音楽でいえば楽器に相当するものでしょう。私にとって水彩とは、なにかヴァイオリンという感じがします」と語った清宮質文に因みヴァイオリンとフォルテピアノのコンサートを開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
2.19	記念コンサート「清宮質文と音楽ー寡黙な光」	水谷晃(ヴァイオリン)、小川加恵(フォルテピアノ)	エントランスホール	300

2. 映画上映会

出品作家の瀬尾夏美氏と映像作家の小森はるか氏による、震災後の陸前高田の風景と人々を記録した映像作品を上映し、展示室にて「大地に立って／空を見上げて」アーティスト・トークを行った。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
11.13	小森はるか＋瀬尾夏美「波のした、土のうえ」上映会＋アーティスト・トーク	瀬尾夏美（出品作家） 小森はるか（映像作家）	研修室、展示室	39

3. 絵本の読み聞かせ

「絵本・動物・地球展」の会場にて、館林市内で絵本の読み聞かせ活動を行っているグループ「にじの会」が、原画が展示されている絵本の読み聞かせを行った。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
4.24	絵本の読み聞かせ	にじの会	展示室	33
5.26	絵本の読み聞かせ	にじの会	展示室	18
6.19	絵本の読み聞かせ	にじの会	展示室	40

4. ぐんまちゃんとサイコロじゃんけん大会

「再発見！ニッポンの立体」展にちなみ、ぐんまちゃんとサイコロを使ったじゃんけんをして、勝ったら当館オリジナル記念品がもらえるイベントを行った。

開催日	名称	会場	参加者数
7.16	ぐんまちゃんとサイコロじゃんけん大会	エントランスホール	10
7.23	ぐんまちゃんとサイコロじゃんけん大会	エントランスホール	24
8.6	ぐんまちゃんとサイコロじゃんけん大会	エントランスホール	25

記念コンサート「清宮質文と音楽－寡黙な光」

小森はるか＋瀬尾夏美「波のした、土のうえ」上映会＋アーティスト・トーク

絵本の読み聞かせ

ぐんまちゃんとサイコロじゃんけん大会

H 他団体への協力

1. 館林市教育委員会・県立館林美術館共催講座

館林市教育委員会との共催により、当館を会場に黒川弘毅氏を講師に迎え、彫刻講座を開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
9.17	発見！彫刻を楽しむ	黒川弘毅(武蔵野美術大学彫刻学科教授)・神尾玲子	研修室・展示室・彫刻家のアトリエ	33

2. 花と緑の館林づくり協議会・県立館林美術館連携事業

花と緑の館林づくり協議会が主催する「あんだんて美術館」と群馬県立館林美術館の連携事業として、市内にアトリエを持つ作家、柳澤顕氏を講師に招き、小・中学生を対象に「あんだんて美術館」に展示する作品を制作した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
3.18	あんだんて美術館×群馬県立館林美術館「みんなで花と緑のまちを描こう！」	柳澤顕(美術作家)	ワークショップ室	21

発見！彫刻を楽しむ

あんだんて美術館×群馬県立館林美術館「みんなで花と緑のまちを描こう！」

Ⅰ 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れた活動を目標とし、当館独自の見学プログラム「たてび☆スクールプログラム」を作成し、学校からの要望に可能な限り応え、見学の受け入れや訪問鑑賞授業を行い、連携を図っている。また、より多くの児童生徒たちが美術館を訪れるように、平成27年度より、教職員向けのセミナーを夏休み期間中に企画している。また、近隣の芸術科を有する高校との連携を年々深めている。一般団体においては、解説を希望する団体に、観覧前の概要説明や学芸員による展示室解説を行っている。

1. 学校との連携事業

(1)連携授業等

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.11	職場体験打合せ+見学	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・展示室	2
5.27	美術館見学	群馬県立あさひ特別支援学校小学部	齊藤由紀子	研修室・展示室	12
5.27	美術館見学	栃木県立足利工業高等学校1年生	齊藤由紀子、熊谷ゆう子	講堂・展示室	44
6.3	美術館見学	ぐんま国際アカデミー初等部	齊藤由紀子、伊羅子典代、羽鳥あゆみ	講堂・展示室	105
6.7	職場体験	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	2
6.8	職場体験	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	2
6.9	職場体験	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	2
6.8	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校3年生	羽鳥あゆみ、熊谷ゆう子	講堂・展示室	35
6.17	美術館見学+バリアフリー見学	館林市立第八小学校4年生	齊藤由紀子、伊羅子典代、羽鳥あゆみ	講堂・展示室・ホール	99
6.25	美術館見学	千代田町立千代田中学校美術部	齊藤由紀子、竹渕典子	研修室・展示室	23
6.26	美術館見学	子育て支援　EBAの会	伊羅子典代、羽鳥あゆみ、神尾玲子	講堂・展示室	37
6.3	訪問鑑賞授業	館林市立第五小学校6年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第五小学校	79
7.5	訪問鑑賞授業	館林市立第六小学校4年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第六小学校	63
7.8	訪問鑑賞授業	前橋市立富士見中学校1年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	前橋市立富士見中学校	108
7.14	訪問鑑賞授業	前橋市立富士見中学校1年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	前橋市立富士見中学校	109
7.2	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	齊藤由紀子、神尾玲子	研修室・展示室	41
7.21	美術館見学	邑楽町立邑楽中学校美術部	齊藤由紀子	研修室・展示室	20
7.22	美術館見学	太田市立城東中学校美術部	齊藤由紀子	展示室	15
7.22	美術館見学	大泉町立南中学校美術部	齊藤由紀子	研修室・展示室	20
7.27	美術館見学	明和町社会福祉協議会	齊藤由紀子、齋藤久美子	研修室・展示室	26
7.28	美術館見学	館林市赤羽児童館	齊藤由紀子	研修室・展示室	27
8.2	宿題相談室+鑑賞	宿題相談室参加者	齊藤由紀子、齋藤久美子、竹渕典子	ワークショップ室・展示室	30
8.3	宿題相談室+鑑賞	宿題相談室参加者	齊藤由紀子、齋藤久美子、竹渕典子	ワークショップ室・展示室	30
8.4	美術館見学	すいらん(株)中学校美術部団体	齊藤由紀子	研修室・展示室	17
8.5	訪問鑑賞授業打合せ+美術館見学	大泉町立北小学校PTA	齊藤由紀子	研修室・展示室	3
8.9	絵画教室+鑑賞	渡瀬公民館家庭教育学級	齊藤由紀子	ワークショップ室・展示室	36
8.10	絵画教室+鑑賞	渡瀬公民館家庭教育学級	竹渕典子	ワークショップ室・展示室	35
8.20	ワークショップ+美術館見学	群馬県立女子大学	齊藤由紀子	ワークショップ室・展示室	11
8.24	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校美術部	齊藤由紀子	研修室・展示室	10
8.25	職場体験打合せ+見学	館林市立第一中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・展示室	1
9.7	美術館見学	足利市立愛宕台中学校1年生	澁澤友香莉	ワークショップ室・研修室・展示室	74
9.8	職場体験	館林市立第一中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	1
9.9	職場体験	館林市立第一中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	1
9.15	職場体験打合せ+見学	邑楽町立邑楽中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・展示室	4
10.3	親子ふれあい教室・訪問授業	大泉町立北小学校PTA	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	大泉町立北小学校	34
10.3	美術館見学	群馬県立太田フレックス高等学校	神尾玲子、伊羅子典代	講堂・展示室	72

10.5	職場体験	館林市立多々良中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・展示室・学芸室	3
10.6	職場体験	館林市立多々良中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・展示室・学芸室	3
10.12	美術館見学	群馬県立あさひ特別支援学校高等部	齊藤由紀子	研修室・展示室	25
10.14	美術館見学	邑楽町立長柄小学校6年生	齊藤由紀子、伊羅子典代、羽鳥あゆみ	講堂・展示室	80
10.19	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	齊藤由紀子、松下和美	講堂・展示室	30
10.19	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校1年生	齊藤由紀子	研修室・展示室	37
10.20	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校3年生	齊藤由紀子	研修室・展示室	24
10.20	職場体験	邑楽町立邑楽中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	4
10.21	職場体験	邑楽町立邑楽中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	4
10.27	美術館調べ	館林市立第八小学校5年生	齊藤由紀子、野澤広紀	講堂	18
10.27	美術館見学	太田市立毛里田小学校4年生	齊藤由紀子、伊羅子典代、羽鳥あゆみ	講堂・展示室	84
10.27	職場体験打合せ+見学	館林市立第二中学校2年生	齊藤由紀子	学芸室・展示室	2
11.4	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	桐生市立東小学校	117
11.8	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校	齊藤由紀子、竹渕典子	桐生市立東小学校	39
11.11	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	桐生市立東小学校	95
11.15	美術館見学	前橋市立山王小学校5年生	齊藤由紀子、齋藤久美子、竹渕典子	講堂・展示室	90
11.16	職場体験打合せ+見学	館林市立多々良中学校2年生	齊藤由紀子	展示室	3
11.17	美術館見学	ぐんま国際アカデミー	松下和美、伊羅子典代、羽鳥あゆみ	講堂・展示室	108
11.17	職場体験	館林市立第二中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	2
11.18	職場体験	館林市立第二中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	2
11.21	訪問鑑賞授業	館林市立第二中学校2年生	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	33
11.24	訪問鑑賞授業	館林市立第二中学校2年生	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	32
11.25	訪問鑑賞授業	館林市立第二中学校2年生	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	33
11.26	美術館見学	EBAの会	齊藤由紀子	講堂・展示室	23
11.30	訪問鑑賞授業	太田市立太田東小学校2年生	齊藤由紀子、竹渕典子	太田市立太田東小学校	55
12.2	美術館見学	館林市立第八小学校5年生	齊藤由紀子	エントランスホール・展示室	85
12.15	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	30
12.16	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	29
1.12	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校6年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	50
1.17	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校5年生	齊藤由紀子、竹渕典子	館林市立第二小学校	52
1.18	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	26
1.19	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	25
1.24	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校4年生	齊藤由紀子、竹渕典子	館林市立第一小学校	90
1.27	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校4年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	桐生市立東小学校	44
2.1	訪問鑑賞授業	太田市立沢野小学校5年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	太田市立沢野小学校	116
2.7	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校4年生	齊藤由紀子、竹渕典子	館林市立第二小学校	66
2.8	訪問鑑賞授業	館林市立第十小学校4年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第十小学校	82
2.9	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	51
2.14	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校3年生	齊藤由紀子、竹渕典子	館林市立第二小学校	27
2.15	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校3年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	28
2.21	訪問鑑賞授業	館林市立第十小学校5年生	齊藤由紀子、竹渕典子	館林市立第十小学校	89

2.23	訪問鑑賞授業	館林市立第十小学校3年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第十小学校	86
2.28	訪問鑑賞授業	館林市立多々良中学校3年生	齊藤由紀子、竹渕典子	館林市立多々良中学校	74
3.1	訪問鑑賞授業	館林市立多々良中学校3年生	齊藤由紀子	館林市立多々良中学校	72
3.7	訪問鑑賞授業	館林市立第十小学校1年生	齊藤由紀子、竹渕典子	館林市立第十小学校	89
3.8	美術館見学	館林市立多々良中学校3年生	齊藤由紀子	エントランスホール・展示室	83
3.9	訪問鑑賞授業	館林市立第十小学校2年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第十小学校	105
3.16	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校1年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第一小学校	86
3.18	ワークショップ+美術館見学	あんだんて美術館ワークショップ参加者	齊藤由紀子、齋藤久美子、竹渕典子	ワークショップ室・展示室	25
3.30	美術館見学	ピグマリオンプチ	齊藤由紀子	研修室・展示室	24
3.30	美術館見学	大泉町立北中学校美術部	伊羅子典代、神尾玲子	講堂・展示室	16

(2)団体解説のみを実施

開催日	学校名	担当	会場	参加者数
6.8	群馬県立聾学校	齋藤久美子	研修室	32

(3)主任会、研修会の実施、参加

開催日	名称	学校名、組織名	担当	会場	参加者数
4.11	館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第一中学校	7
4.18	館林市小学校図工部会	館林市小学校図工部会	齊藤由紀子	館林市立第一小学校	13
5.13	館林市小学校図工部会	館林市小学校図工部会	齊藤由紀子	美術館・研修室	12
6.6	館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	7
6.21	邑楽郡小学校図工主任会	邑楽郡小学校図工主任会	齊藤由紀子	美術館・研修室	18
7.29	前橋市立山王小学校見学下見+打合せ	前橋市立山王小学校	齊藤由紀子	美術館	3
8.4	群馬県立あさひ特別支援学校見学+下見+打合せ	群馬県立あさひ特別支援学校	齊藤由紀子	美術館	1
8.5	邑楽郡小学校図工実技講習会	邑楽郡小学校図工主任会	齊藤由紀子	美術館・ワークショップ室	36
8.5	大泉町立北小学校見学+訪問授業打合せ	大泉町立北小学校	齊藤由紀子	美術館	2
8.23	群馬県総合教育センター研修講座	群馬県総合教育センター	齊藤由紀子、神尾玲子	美術館・研修室・展示室	28
8.30	太田市立毛里田小学校見学+下見+打合せ	太田市立毛里田小学校	齊藤由紀子	美術館	4
9.6	群馬県立太田フレックス高等学校下見+打合せ	群馬県立太田フレックス高等学校	齊藤由紀子	美術館	3
9.8	館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第三中学校	7
10.7	館林中学校美術部会	館林中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第一中学校	7
10.7	館林市小学校図工部会	館林市小学校図工部会	齊藤由紀子	館林市立第一小学校	13
11.15	太田市立太田東小学校見学＋訪問授業打合せ	太田市立太田東小学校	齊藤由紀子	美術館・会議室	1
11.16	邑楽郡小学校図工部会	邑楽郡小学校図工部会	齊藤由紀子	美術館・研修室	18
12.28	館林市立第二小学校訪問授業打合せ	館林市立第二小学校	齊藤由紀子	館林市立第二小学校	9
1.13	館林市小学校図工部会	館林市小学校図工部会	齊藤由紀子	美術館・研修室	13
1.25	館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第四中学校	7
2.2	館林市立第二小学校訪問授業打合せ	館林市立第二小学校	齊藤由紀子	館林市立第二小学校	3
2.2	館林市立多々良中学校学社連携授業打合せ	館林市立多々良中学校	齊藤由紀子	美術館	1
2.7	中学校学社連携	館林市立多々良中学校	齊藤由紀子	美術館	2

(4)「先生のための美術館サマーセミナー」の開催

開催日	名称	担当	会場	参加者数
8.24	先生のための美術館サマーセミナー	齊藤由紀子、神尾玲子、竹渕典子	研修室、展示室	10

「教職員のための模擬授業」に替わる教職員を対象とした企画として、「先生のための美術館サマーセミナー」を開催した。本企画は、教職員が美術館をもっと身近なものとしてとらえ、学校の授業や行事の中に気軽に取り入れ、活用していけるように企画したものである。昨年度より作成し、県内の小中学校と関係機関に配布した「たてび☆スクールプログラム」について、利用例をスライドで紹介したり、ワークシートを使った鑑賞やアートカードゲームなどを実際に体験していただいたりした。展示作品については、学芸員が解説を行い、参加者は、美術に親しみながら、美術館活動への理解を深めていた。

学校訪問鑑賞授業

美術館見学

先生のための美術館サマーセミナー

2. 群馬県立西邑楽高等学校との連携事業

(1)高校生による夏休み宿題相談室

美術を専攻する生徒が、当館のワークショップ室において、絵やポスターなど小中学生の夏休みの課題について、アドバイスをするワークショップである。定員30名、時間は午後１時～４時までの３時間の内容で２日間開催した。参加者は、高校生からのアドバイスをもとに、熱心に制作に励んでいた。また、高校生たちは、小中学生との交流を通して、教えることの難しさを感じながらもふれあいを楽しみながら活動していた。

開催日	名称	会場	参加者数
8.2	高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	29
8.3	高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	29

(2)高校生による美術館ミニコンサート

音楽を専攻する生徒たちが、当館のエントランスホールを会場にして、ミニコンサートを開催した。今回の演奏は、総勢36名の吹奏楽部によるもので、コンクールで発表した曲をはじめとした30分間の演奏を２回行った。生徒たちは、緊張しながらも、日頃の成果を発揮し、素晴らしい演奏を行った。美術館を訪れた来館者は、足を止めて、生徒たちの演奏に聴き入っていた。

開催日	名称	会場	参加者数
8.13	高校生による美術館ミニコンサート	エントランスホール	150

(3)特別講義　諏訪敦「絵画制作を語る」

群馬県立西邑楽高等学校では、芸術科美術コースの生徒を対象に、授業の一環として、国内外で活躍している現代作家による特別講義を毎年開催している。今年度は、リアリズム絵画の現代作家である諏訪敦氏を講師にお迎えし、当館の講堂を会場に講義を行った。本事業では、生徒たちとともに、一般の聴講者も募集している。

開催日	名称	会場	参加者数
1.31	特別講義　諏訪敦「絵画制作を語る」	講堂	96

高校生による夏休み宿題相談室

高校生による美術館ミニコンサート

特別講義　諏訪敦「絵画制作を語る」

3. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	1	2	2	1	1	0	3	5	0	0	0	3	18
人数	22	42	35	49	20	0	58	198	0	0	0	101	525

J 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第8回　日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全27校を一週間6会期に分けて展示した。31日間の全会期中に、合計2,614人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.16-7.21	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校、館林市立第五小学校	414
第2期	7.23-7.28	館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校	276
第3期	7.30-8.4	館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校、板倉町立南小学校、板倉町立北小学校	476
第4期	8.6-8.11	明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	350
第5期	8.13-8.18	大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校	543
第6期	8.20-8.25	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	555

ポスター

展示会場

◎主要関連記事
（長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略）

教育普及事業・その他

〔新聞等〕
・上毛新聞
10.23
「秋の夜に音色響く 館林美術館コンサート」
2.1
「絵画制作の基本 西邑楽高生に講義 館林美術館で大学准教授」
2.28
「版画テーマに学芸員が解説 県立館林美術館」〈ぶんか短信〉
3.5
「夜の美術館に華やかな歌声」

〔定期刊行物〕
・月刊さんさん
3月号
「今度ここ行こう！群馬県立館林美術館」
・美連協ニュース
2月号
「群馬県立館林美術館」＊
・婦人画報
4月号
「群馬県 フランソワ・ポンポン「シロクマ」」
・PRESIDENT MOOK 人に教えたくない「穴場」美術館 厳選103
2016年
「群馬県立館林美術館」〈穴場美術館1 自然がそばにある美術館〉

◎群馬県立館林美術館平成28年度事業案内
B4判変形4つ折り
平成29年3月発行
発行部数　25,000部

L ボランティア

今年度より、ボランティアの名称を「たてび★サポーター」とし、年間登録制にして新たに募集を開始した。これまでは、ワークショップの制作サポートのみの活動であったが、研修会の参加や展示・撤収の手伝い等を導入し、活動の幅を広げた。募集は通年で行い、36名が登録した。

期日	名称	人数
5.8、6.25、7.18、8.28、2.11	研修会等	66
5.22、6.4、10.29、11.5、3.12、3.18	企画展関連イベントサポート	37
7.21、7.28、8.11、8.18	「みんなのアトリエ」制作サポート	31
5.14、6.11、9.3、11.23、3.12	「たてび☆びじゅつ部」制作サポート	45
9.22、9.30、10.2	展示・撤収サポート	30
10.8、10.9、10.10、10.15、10.16、10.18、10.21、10.22、10.23、10.25、10.28、10.29、10.30、11.1、11.3、11.5、11.6、11.8、11.12、11.13、11.15、	日比野氏展示揚舟制作サポート	79

M 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

1. 運営会議
(1)総会(6.19)
(2)理事会(6.19、2.17)
(3)意見交換会(7.21)
(4)運営委員会(4回 5.25、7.13、8.31、11.9)
事業の企画運営等具体的事項の協議

2. 美術館協力支援事業
(1)ミュージアムショップの運営
展覧会商品、図録、オリジナル商品、書籍その他の展示販売を通して来館者へのサービス向上に努めた。
(2)レセプションの開催(7.16、10.13)
美術館事業との共催
(3)美術館への協力
ミュージアムショップの利益から映像機材を寄贈

3. 会員対象事業
(1)美術館情報の提供(5.19、7.1、8.3、9.15、12.9、3.23)
展覧会や美術講座等の広報資料や、友の会からのお知らせ等を随時会員宛に送付した。
(2)コンサートの開催(10.21、3.3)
オータムコンサート 10月21日 演奏者:酒井ありさ(ヴァイオリン)・菅谷圭(ピアノ) 参加者90名
スプリングコンサート 3月3日 演奏者:あみ(シャンソン)・今野勝晴(ピアノ)鈴木崇朗(バンドネオン) 参加者129名
(3)ミュージアム・ツアーの開催(9.28)
美術館訪問を通じて美術鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者48名
訪問先 岡田美術館
(4)館長レクチャー(2.5)
「世界的建築家 ブルーノ・タウトと群馬」 参加者25名

A 美術作品

1. 作品収蔵状況　平成29年3月31日現在

作家区分	県内作家			国内作家			外国作家			総計
収蔵方法	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
部門										
日本画	4	9	13	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	7	0	7	18	8	26	6	1	7	40
水彩・素描	10	6	16	3	0	3	8	0	8	27
版画	22	0	22	289	252	541	52	0	52	615
写真・映像	0	0	0	60	8	68	12	0	12	80
彫刻	5	8	13	4	5	9	125	0	125	147
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	1	5	16
計	53	26	79	378	274	652	207	2	209	940

2. 平成28年度　収蔵作品

平成28年度は、新たに収蔵した作品はなかった。

3. 平成28年度　寄託作品

作者名	作品名　（＊　新規寄託）	制作年	技法・材質	寸法（高さ × 幅 × 奥行cm）
伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age＊	2013	自然石、ファスナー、ステンレス球	7.5 × 12.0 × 13.0
大坂秩加	あなたに縁起のいい門出を＊	2010	リトグラフ・紙	25.0 × 16.0
大坂秩加	ちょっと高い合コン＊	2011	アクリル、水彩、色鉛筆、チョーク・麻布	70.0 × 50.0
大坂秩加	カップヌードルをすする＊	2012	アクリル、水彩、色鉛筆、白亜地・パネル	120.0 × 90.0
上根拓馬	27ガーディアンズ 大弁功徳天＊	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	7.5 × 12.0 × 13.0
上根拓馬	28ガーディアンズ 那羅延堅固＊	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	7.5 × 12.0 × 13.0
上根拓馬	28ガーディアンズ 那羅延堅固＊	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	7.5 × 12.0 × 13.0
上根拓馬	28ガーディアンズ 密遮金剛力士＊	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	7.5 × 12.0 × 13.0
上根拓馬	12ガーディアンズ no.2 伐折羅大将＊	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	7.5 × 12.0 × 13.0
上根拓馬	12ガーディアンズ the Devas no.7 毘沙門天＊	2013	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	7.5 × 12.0 × 13.0
白石綾子	room of womb＊	2010	アクリル、油彩・パネル	120.0 × 120.0
樽谷タカシ	妖怪力車＊	2011	アクリル、金箔・木製パネル	33.3 × 53.1
中井章人	引きずりの観測＊	2010	ミクストメディア	12.5 × 11.0 × 11.0
にしはら あずさ	グレタ＊	2010	油彩・コットンクロスパネル	41.0 × 31.8
にしはら あずさ	あの子と逸れた＊	2011	油彩・コットンクロスパネル	162.1 × 112.1
深沢幸雄	骨疾D＊	1955	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	24.2 × 18.1
深沢幸雄	母子像＊	1956	メゾチント・紙	23.3 × 36.7

作者名	作品名　(＊　新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法 (高さ × 幅 × 奥行cm)
深沢幸雄	橋＊	1958	エッチング、ディープエッチング、ソフトグランドエッチング、シュガーアクアチント・紙	36.5 × 31.8
深沢幸雄	新しい夜＊	1961	エッチング、ディープエッチング、アクアチント、メゾチント・紙	36.5 × 34.0
深沢幸雄	假面＊	1961	エッチング、ディープエッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント・紙	29.9 × 19.2
深沢幸雄	残像＊	1961	エッチング、ディープエッチング、ソフトグランドエッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント・紙	30.0 × 36.5
深沢幸雄	望郷＊	1962	エッチング、ディープエッチング、アクアチント、シュガーアクアチント・紙	23.2 × 13.4
深沢幸雄	憂愁の裸像＊	1992	エッチング、ディープエッチング、アクアチント、メゾチント・紙	36.1 × 69.2
町田久美	招き猫＊	不明	ミクストメディア	14.0 × 7.5 × 8.5
町田久美	らんちゅうタクシー＊	1998	スクリーンプリント・紙	87.0 × 42.7
町田久美	赤い衣装＊	2010	青墨・岩絵具・顔料・雲肌麻紙	22.8 × 16.5
町田久美	オモチャ＊	2011	ガッシュ、デジタルプリント・紙	29.4 × 39.0
町田久美	a year＊	2012	岩絵具・リキテックス・鉛筆・カンヴァス	10.0 × 10.0
町田久美	鞭＊	2012	和紙・鉛筆・色鉛筆・オイルパステル	30.0 × 21.0
町田久美	前夜＊	2013	エッチング、リトグラフ、金箔(手彩色)・和紙	22.7 × 19.2
町田久美	前夜＊	2014	エッチング、リトグラフ、金箔(手彩色)・和紙	22.7 × 19.4
三宅砂織	ベッドルーム2＊	2008	ゼラチン・シルバー・プリント	70.0 × 70.0
山口長男	人(Ⅲ)＊	1980	リトグラフ・紙	58.0 × 43.0
山田純嗣	10-11　FLOWERS＊	2010	ポリコートパネル・印画紙・樹脂・パールペイント・インタリオ・オン・フォト	65.0 × 65.0
山中現	流れ星＊	1981	木版・紙	48.8 × 36.5
山中現	後に大きく＊	1982	木版・紙	15.5 × 22.6
山中現	ニョロニョロ＊	1982	木版・紙	15.4 × 22.6
山中現	まど＊	1982	木版・紙	46.0 × 32.2
山中現	7＊	1983	木版・紙	24.8 × 25.8
山中現	二つの雲＊	1984	木版・紙	20.3 × 15.4
山中現	夜話Ⅰ＊	1986	木版・紙	52.4 × 40.0
山中現	夜にⅡ＊	1986	木版・紙	27.0 × 19.2
山中現	星夜Ⅳ＊	1987	木版・紙	69.2 × 48.3
山中現	星の道＊	1989	木版・紙	42.5 × 31.6
山中現	二つの時＊	1993	木版・紙	48.4 × 66.5
山中現	カタチノアツマルバショ＊	1994	木版・紙	24.5 × 35.0
山中現	4つの場所＊	1998	油彩・カンヴァス	45.5 × 37.8
山中現	雲の記号＊	2000	木版・紙	49.1 × 62.9
山中現	みどりのかたち＊	2000	木版・紙	62.6 × 49.0
山中現	陰の刻＊	2005	木版・紙	51.8 × 45.0
山中現	ひとつの茶色＊	2006	ガラス絵	14.5 × 9.8
山中現	ひとつのみどり＊	2006	ガラス絵	14.5 × 9.8
山中現	冬の日＊	2006	ガラス絵	9.8 × 14.5
山中現	時のかたち＊	2007	油絵・カンヴァス	40.8 × 31.8
横尾忠則	予兆の刻1＊	1989	シルクスクリーン・紙	62.5 × 70.0
清宮質文	窓のランタン＊	1972	水彩・紙	24.4 × 14.2
清宮質文	未完＊	1991	木版・紙	20.8 × 24.5

作者名	作品名　(＊　新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法 (高さ × 幅 × 奥行cm)
三輪途道	YUUKO	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0 × 48.0 × 25.0
三輪途道	野辺の王様	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0 × 32.0 × 40.0
三輪途道	温度－H.MIWA－	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0 × 57.0 × 37.0
三輪途道	縄文からの道	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0 × 25.0 × 16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0 × 50.0 × 28.0
三輪途道	猿を待ってた日	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0 × 16.5 × 23.0
三輪途道	下仁田―おじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0 × 59.0 × 64.0
三輪途道	下仁田―おばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0 × 50.0 × 56.0
三輪途道	おじいの宝Ⅱ(金歯の位置違い)	2003	檜、漆、金箔	3.0 × 7.5 × 5.0
三輪途道	猫の抜け道	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0 × 68.0 × 14.0
三輪途道	発電所のなめくじ	2005	檜、漆、膠、白土、顔料 (5点組)	4.0 × 6.0 × 14.0 5.0 × 8.0 × 20.0 6.0 × 9.0 × 28.0 13.0 × 10.0 × 18.0 13.0 × 10.0 × 18.0
三輪途道	父子像	2007	檜、漆、膠、顔料	175.0 × 42.0 × 42.0
三輪途道	乳母と私Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90.0 × 58.0 × 71.0
三輪途道	父子像Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0 × 99.0 × 8.0
松井冬子	同世代のエジプト人	2007	鉛筆・紙	43.7 × 36.7
松井冬子	トトメス4世	2007	鉛筆・紙	36.2 × 44.1
カンノサカン	無題	2007	ウレタン、アクリル・パネルに貼られたカンヴァス	30.0 × 30.0
大竹利絵子	へび	2006	木	31.0 × 21.5 × 17.0
川島秀明	stare	2008	アクリル・カンヴァス	50.0 × 72.7
日野之彦	パーマ	2007	鉛筆・紙	103.5 × 72.5
日野之彦	縞の服	2008	鉛筆・紙	101.6 × 50.4
会田誠	トラウマンボーイ02	2007	パネル、紙、色鉛筆、水彩絵具、油性マーカー	36.5 × 51.5
会田誠＆加藤愛	愛ちゃん盆栽(ほおずき)小料理屋にて	2008	ラムダプリント	86.8 × 125.0
Chim↑Pom	イケてる人達みたい02	2008	Cプリント、DVD	31.0 × 31.0
加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3 × 24.0
町田久美	ひとり	2003	雲肌麻紙・墨	130.0 × 97.0
森田恒友	漁村図	未詳	紙本墨画・軸	94.5 × 90.0
岸浪百草居	画巻(魚など)	未詳	紙本著色・巻子	24.0 × 625.9
津田青楓	山高水長画巻	1937	紙本著色・巻子	30.2 × 538.2
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0 × 181.0
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.6 × 22.1
掛井五郎	人間の問題研究III四つの足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0
岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレススチール、カンヴァス、合板	183.0 × 200.0 × 398.0
日野之彦	見つめ合い	2011	油彩・カンヴァス	91.0 × 91.0
日野之彦	二人は走る	2010	油彩・カンヴァス	259.1 × 193.9
アルブレヒト・デューラー	書斎の聖ヒエロニムス	1514	エングレーヴィング・紙	24.4 × 18.8
西村盛雄	甘露の雨　マナ9	2002	木	37.0 × 220.0 × 220.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0 × 33.0 × 32.5
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0 × 184.0 × 57.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0 × 54.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5 × 62.5 × 30.0
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5 × 64.5 × 50.0
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0 × 53.0 × 48.0
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0 × 49.0 × 25.0
大森暁生	Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0 × 130.0 × 67.0
長重之	視床～青	1995	木、布、アクリル絵具	100.0 × 162.0 × 7.0
長重之	視床	2010	水彩、コラージュ・紙	92.5 × 116.0
山口啓介	花の心臓 / 炭素原子モデル	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0 × 181.0
中平四郎	讀賣	1924	木彫	60.0 × 34.0 × 25.0
藤牧義夫	関連資料　全21点			
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.7 × 18.8

作者名	作品名　(＊　新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法 (高さ × 幅 × 奥行cm)
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.3 × 16.3
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2 × 14.2
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.1 × 21.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.3 × 23.3
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	16.6 × 22.0
清宮質文	暗い夕日(暗い夕日1)	1972	木版・紙	21.0 × 19.2
清宮質文	冬(暗い夕日2)	1972	木版・紙	23.0 × 21.8
清宮質文	トンネルの出口(暗い夕日3)	1972	木版・紙	23.4 × 20.1
清宮質文	虜囚の窓 (暗い夕日4)	1972	木版・紙	24.3 × 20.0
清宮質文	夕方の静物 (暗い夕日5)	1972	木版・紙	23.0 × 21.9
清宮質文	窓のカンテラ (暗い夕日6)	1972	木版・紙	24.2 × 15.0
清宮質文	入日(暗い夕日7)	1972	木版・紙	16.2 × 25.8
清宮質文	町外れ(暗い夕日8)	1972	木版・紙	16.6 × 22.0
清宮質文	夕日の静物(暗い夕日9)	1972	木版・紙	13.7 × 22.2
清宮質文	壜の中の魚(暗い夕日10)	1972	木版・紙	20.0 × 22.6
清宮質文	深夜の蝋燭	1974	木版・紙	18.0 × 15.2
清宮質文	星占い　～去りゆく凶星～	1975	木版・紙	15.2 × 18.0
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.2 × 14.1
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	10.0 × 16.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	12.5 × 14.0
清宮質文	われむかしの日いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.2 × 13.0
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.5 × 6.8
清宮質文	失題(モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	20.8 × 16.2
清宮質文	失題(モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	19.3 × 11.2
清宮質文	失題(モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	21.6 × 16.2
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.8 × 16.0
清宮質文	なんじの革嚢にわが涙を	1985	木版・紙	17.5 × 16.9
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8 × 7.0
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	16.8 × 27.7
清宮質文	冬の夕(絶筆)	1991	ガラス絵	12.2 × 16.2
清宮質文	未完 (絶筆)	1991	ガラス絵	13.0 × 16.6
清宮質文	歳月	1970	木版画	18.9 × 25.9
清宮質文	眠り	1966	木版・紙	19.8 × 27.8
清宮質文	夏の終わり	1967	木版・紙	10.2 × 22.2
清宮質文	月と運河(試摺り)	1988	木版・紙	16.5 × 16.4
清宮質文	無題(未完)	1991	木版・紙	23.0 × 30.6
駒井哲郎・小磯良平・清宮質文・浜田知明	駒井哲郎のオマージュ	1982	エッチング他	43.6 × 34.6

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
ラウル・デュフィ	電気の精(10点組)	アーツ前橋	田中青坪 永遠のモダンボーイ	アーツ前橋 3.19-5.17
フランソワ・ポンポン	シロクマ 大黒豹 フクロウ	千葉県立美術館	メタルアートの巨人―津田信夫	千葉県立美術館 10.25-1.15

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング
J.-J.グランヴィル	ラ・フォンテーヌの寓話　第2巻	木口木版・紙	版画	図版頁の分離と修復処理

B 図書資料その他

平成28年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	224	98	58	0	8	4	392
寄贈	101	76	546	145	134	6	1,008
計	325	174	604	145	142	10	1,400

職員名簿

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

館長	佐々木正直
副館長	貝塚則一

〈教育普及係〉

教育普及係長	山崎雅史
主幹(事)	平野由紀夫
主幹(事)	田口博文
主幹(事)	齊藤由紀子
主幹（学芸員）	熊谷ゆう子
教育普及員	齋藤久美子
	羽鳥あゆみ
	竹渕典子
	最上雅世
	松本梨江

〈学芸係〉

学芸係長	神尾玲子
主幹(学芸員)	松下和美
主任(学芸員)	野澤広紀
学芸員	佐原しおり
主幹専門員	徳江庸行
資料整理員	伊羅子典代